



オンラインサロン嚥下セミナー

5月29日（水） 20:00～

食事動作に繋がる

シーティング  
の考え方

脳外臨床研究会

嚥下セミナー講師

小西

弘晃

# 食事動作に繋がるシーティング

- ①シーティング (seating) とは？
- ②食事動作に必要なシーティングについて  
→車椅子シーティングの段階な目標設定・必要な構成要素
- ③症例を通して考える

シーティング (seating) って何？



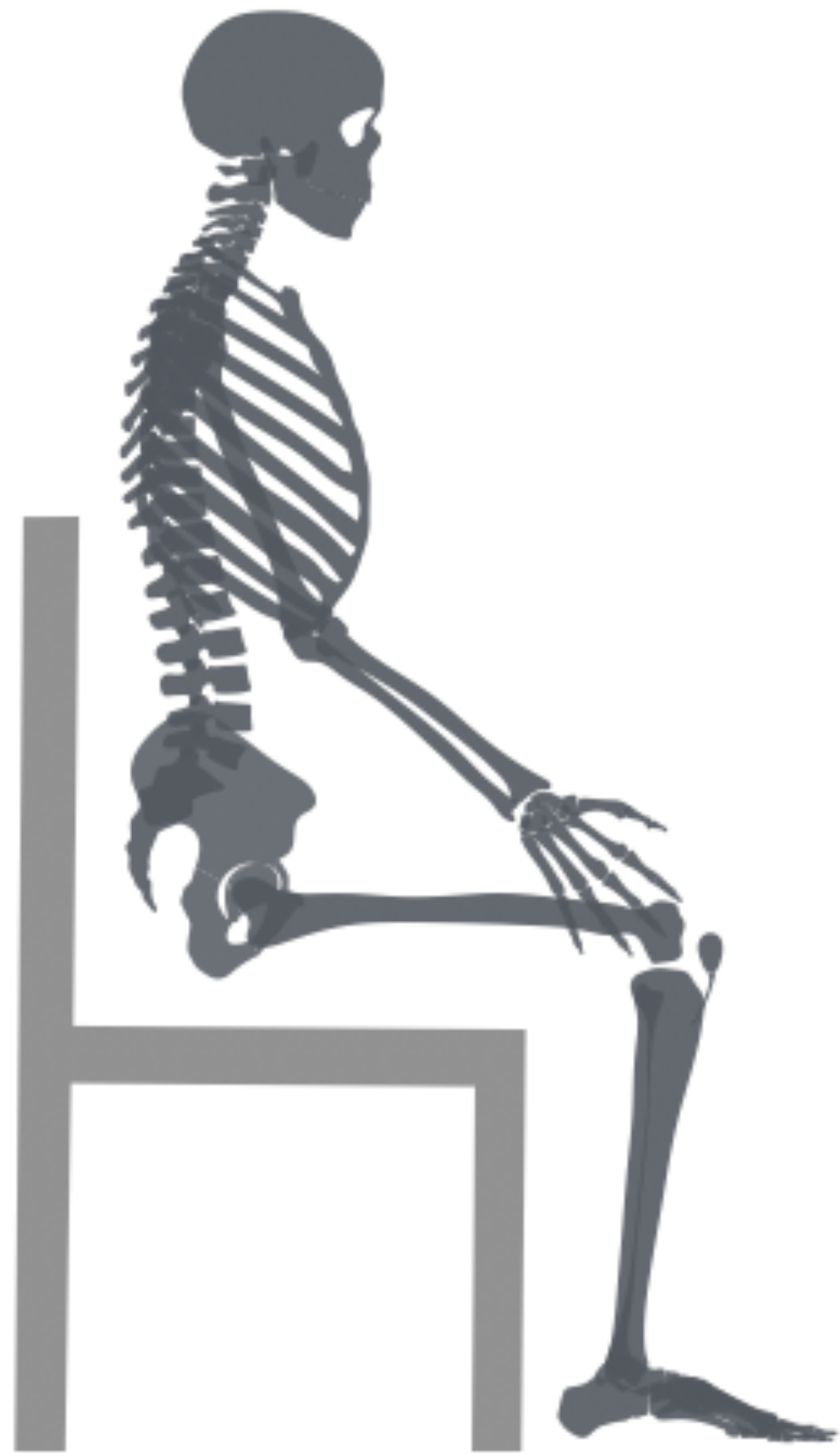
# シーティングって何？

シーティングとは、椅子・車椅子を利用して生活する人を対象に、座位に関する評価と対応(機器の選定、調整、マネジメントなどを含む)を行うこと。

シーティングの目的は、対象者等と共有した目標を達成できる適切な座位姿勢を実現することにより、二次的障害の予防、活動と参加の促進、心身機能・構造の改善を促すことです。

# シーティングって何？

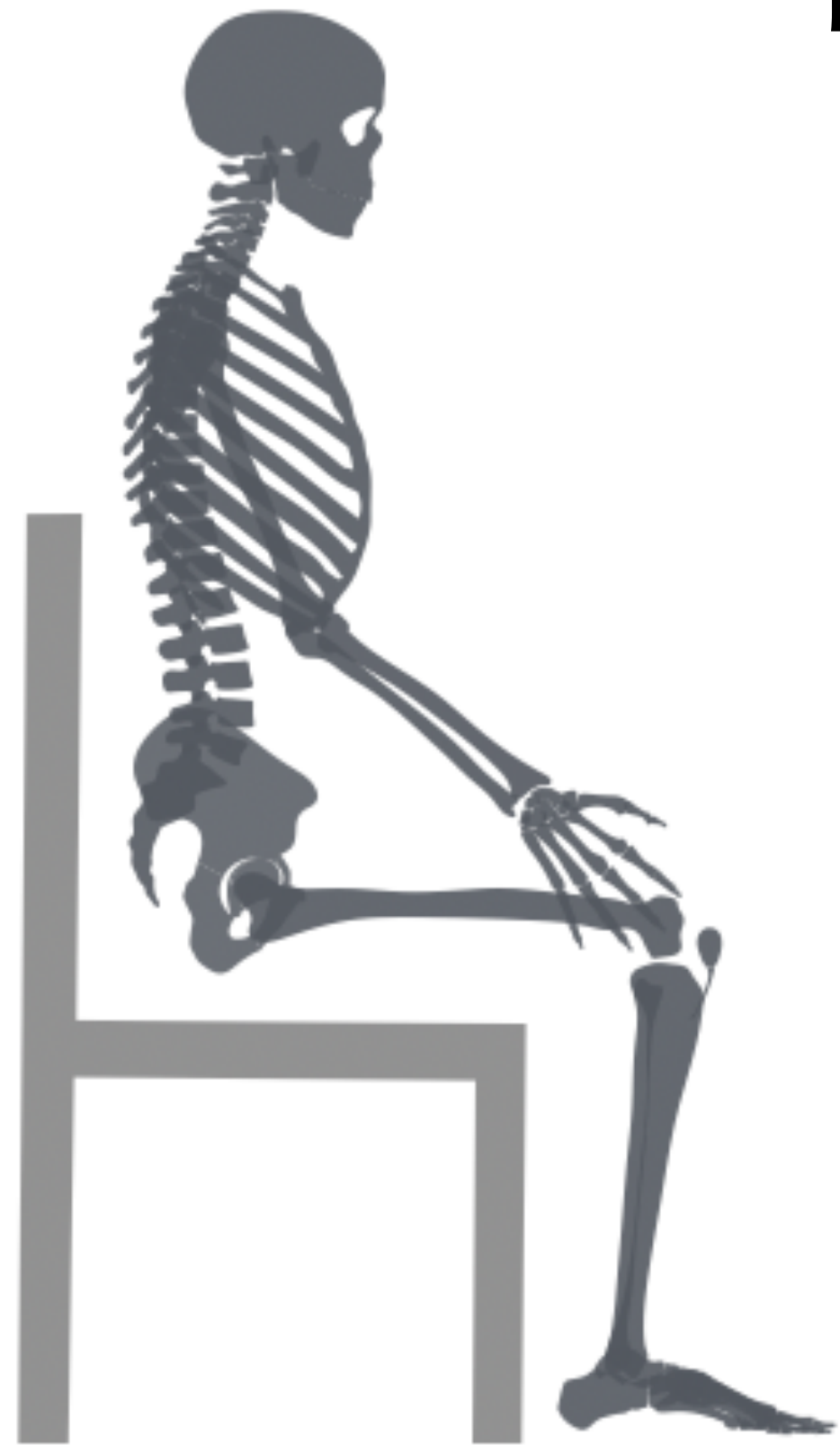
対象：



# シーティングって何？

対象：椅子・車椅子を利用して生活する人

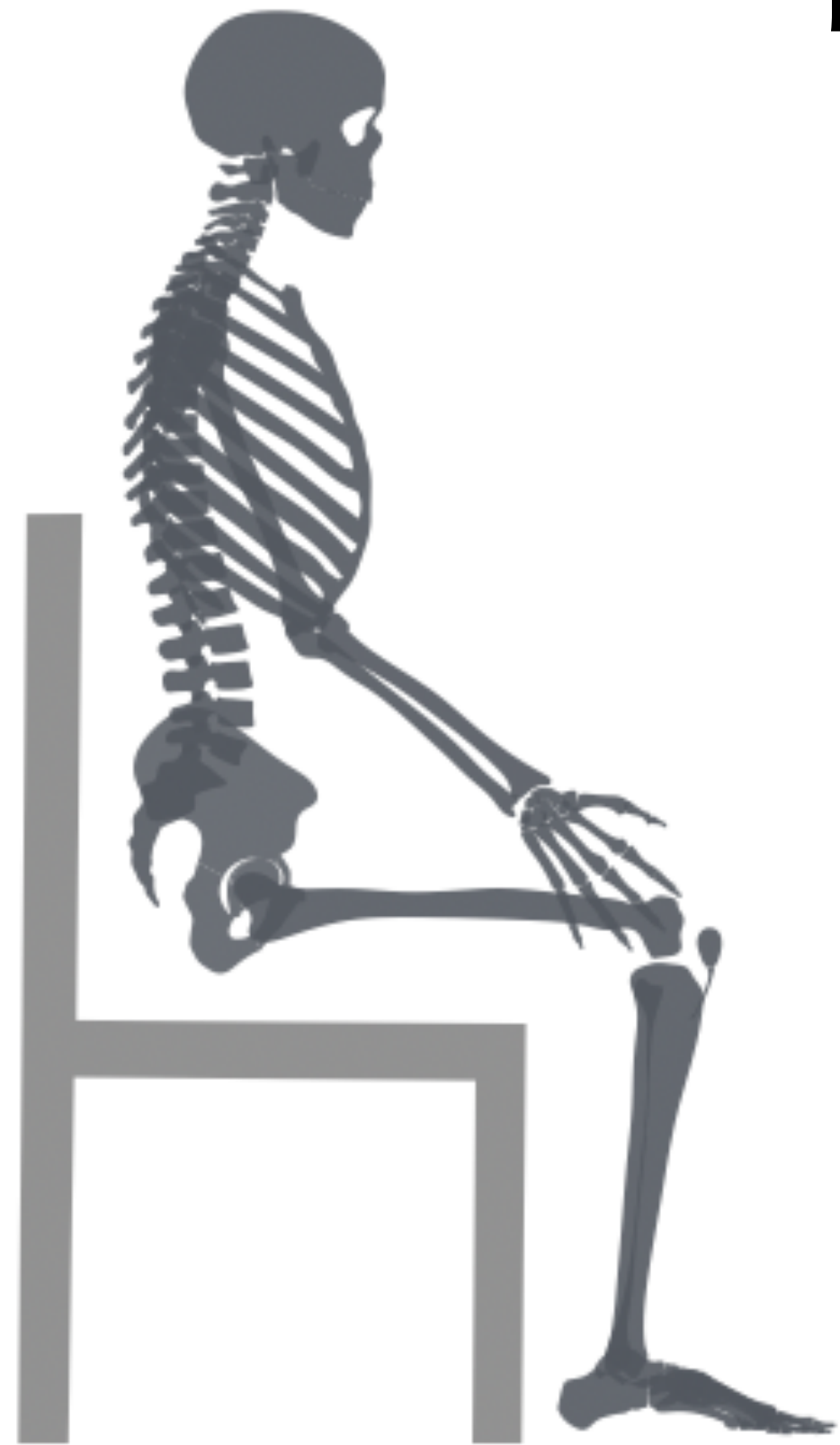
何をするの？



# シーティングって何？

対象：椅子・車椅子を利用して生活する人

何をするの？：座位に関する評価と対応

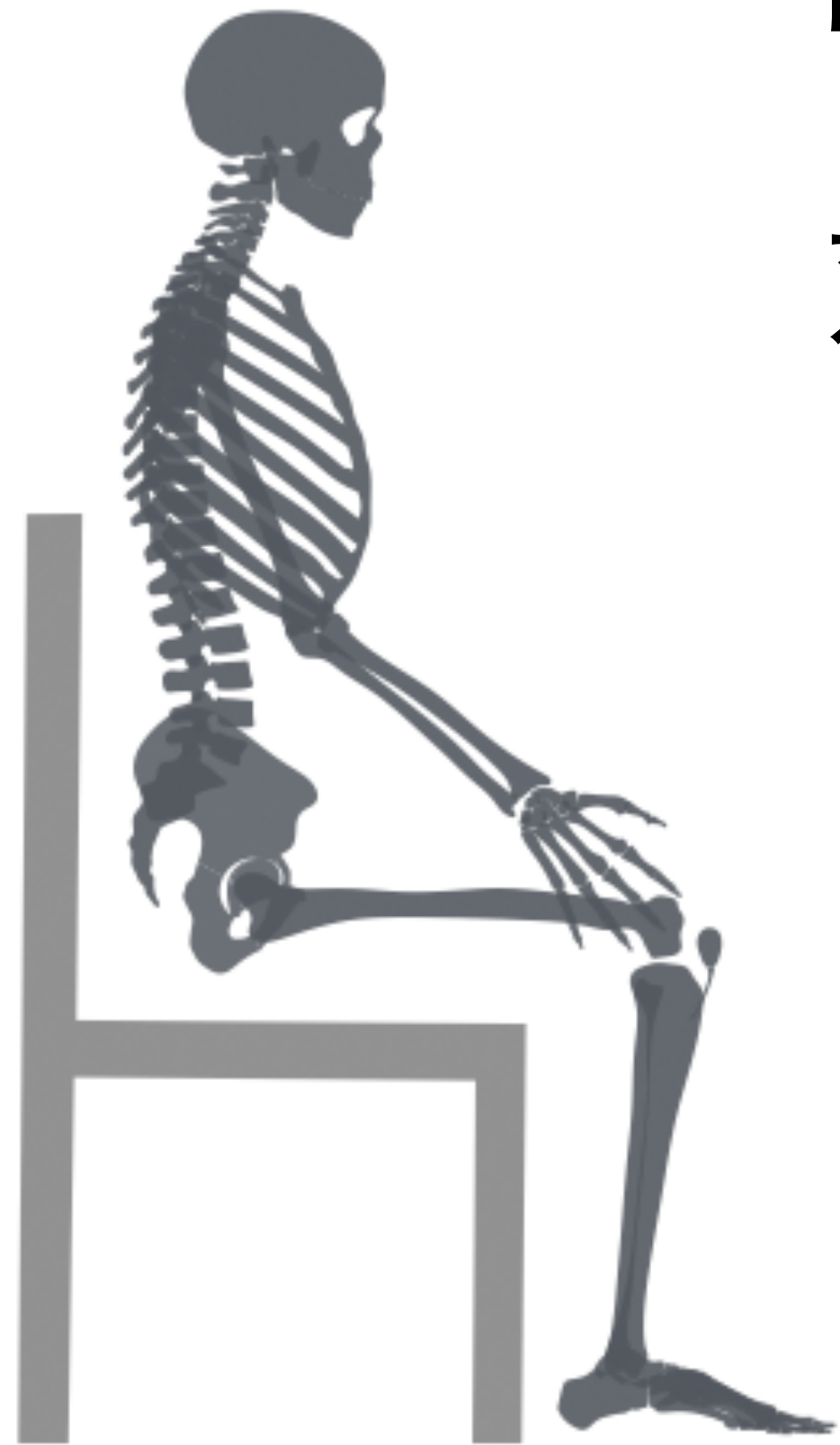


# シーティングって何？

対象：椅子・車椅子を利用して生活する人

何をするの？：座位に関する評価と対応

対応って何？





# シーティングって何？

対象：椅子・車椅子を利用して生活する人

何をするの？：座位に関する評価と対応

対応って何？：機器の選定、調整、マネジメント



# シーティングって何？

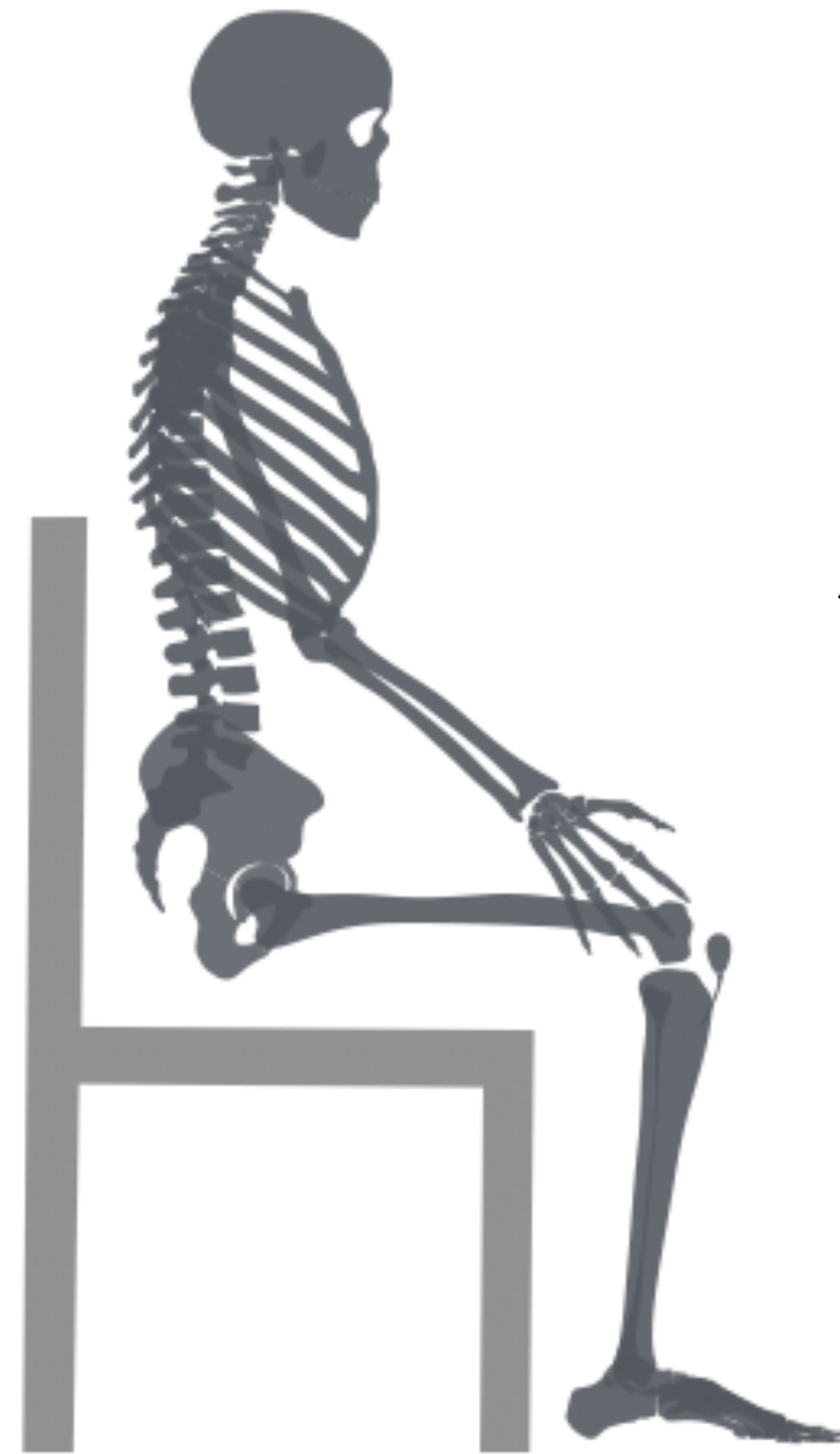
対象：椅子・車椅子を利用して生活する人

何をするの？：座位に関する評価と対応

対応って何？：機器の選定、調整、マネジメント

何のために？

- ①対象者等と共有した目標を達成できる適切な座位姿勢を実現するために。
- ②二次的障害の予防、活動と参加の促進、心身機能・構造の改善を促すために。



# シーティングって何？

対象：椅子・車椅子を利用して生活する人

何をするの？：座位に関する<sup>①</sup>評価と対応

対応って何？：機器の選定、調整、マネジメント

何のために？

①対象者等と共有した目標を達成できる適切な座位姿勢を実現するために。

②二次的障害の予防、活動と参加の促進、心身機能・構造の改善を促すために。



**座位の目的って何？何のために座位を取るの？**

## 認知

コミュニケーション

社会的認知

人は、できる動作の中から、今の状況・感情・身体的機能から何をそうするのか？という『選択』を行います。この『選択』こそが認知であり、コミュニケーションや社会的認知が必要となります。できるのにしない・・・できるADLとしているADLが違う原因もここにあります。

## セルフケア

食事

整容

清拭

更衣上衣

更衣下衣

トイレ

移動した先にあるのが、自分自身をケアするという意味のセルフケア動作が待っている。人が生きて行く為にはご飯を食べるという食事動作、排泄物を出すというトイレ動作、感染などから身を守る清拭・更衣、そして、他者とコミュニケーションをとり社会の中に入っていくための整容動作がある。

## 移乗・移動動作

階段

車椅子移動

歩行

移乗（ベッド・車椅子・椅子・トイレ）

寝た状態から起き上り姿勢を保持するという基本動作を獲得すると、何か目的を達成したい、するという意欲から動作や行為が発生する。目的達成はその場で可能なものもあるが、その大半がどこかへ移動することがことによって達成される。移動には、3段階あり

- ・近くのものに乗り移る移乗動作
- ・道具を利用する車椅子移動（下肢の障害・上肢にて代償する手段）
- ・人間特有の2足歩行

そして、最後にあるのが目的達成の弊害なる段差や階段といって水平面ではない重心移動である階段昇降がある

## 基本動作

臥位

寝返り

起き上り

座位

立ち上り

立位

基本動作というのは、全ての動作における基本（基礎・基盤）になる部分、この基本が障害されるとその上にある全ての動作に問題が発生する。基本動作の獲得は地球上で生活するという行為において最も大切な能力である。



## 認知

コミュニケーション

社会的認知

人は、できる動作の中から、今の状況・感情・身体的機能から何をそうするのか？という『選択』を行います。この『選択』こそが認知であり、コミュニケーションや社会的認知が必要となります。できるのにしない・・・できるADLとしているADLが違う原因もここにあります。

## セルフケア

食事

整容

清拭

更衣上衣

更衣下衣

トイレ

移動した先にあるのが、自分自身をケアするという意味のセルフケア動作が待っている。人が生きて行く為にはご飯を食べるという食事動作、排泄物を出すというトイレ動作、感染などから身を守る清拭・更衣、そして、他者とコミュニケーションをとり社会の中に入っていくための整容動作がある。

## 移乗・移動動作

階段

車椅子移動

歩行

移乗（ベッド・車椅子・椅子・トイレ）

寝た状態から起き上り姿勢を保持するという基本動作を獲得すると、何か目的を達成したい、するという意欲から動作や行為が発生する。目的達成はその場で可能なものもあるが、その大半がどこかへ移動することがことによって達成される。移動には、3段階あり

- ・近くのものに乗り移る移乗動作
- ・道具を利用する車椅子移動（下肢の障害・上肢にて代償する手段）
- ・人間特有の2足歩行

そして、最後にあるのが目的達成の弊害なる段差や階段といって水平面ではない重心移動である階段昇降がある

## 基本動作

臥位

寝返り

起き上り

座位

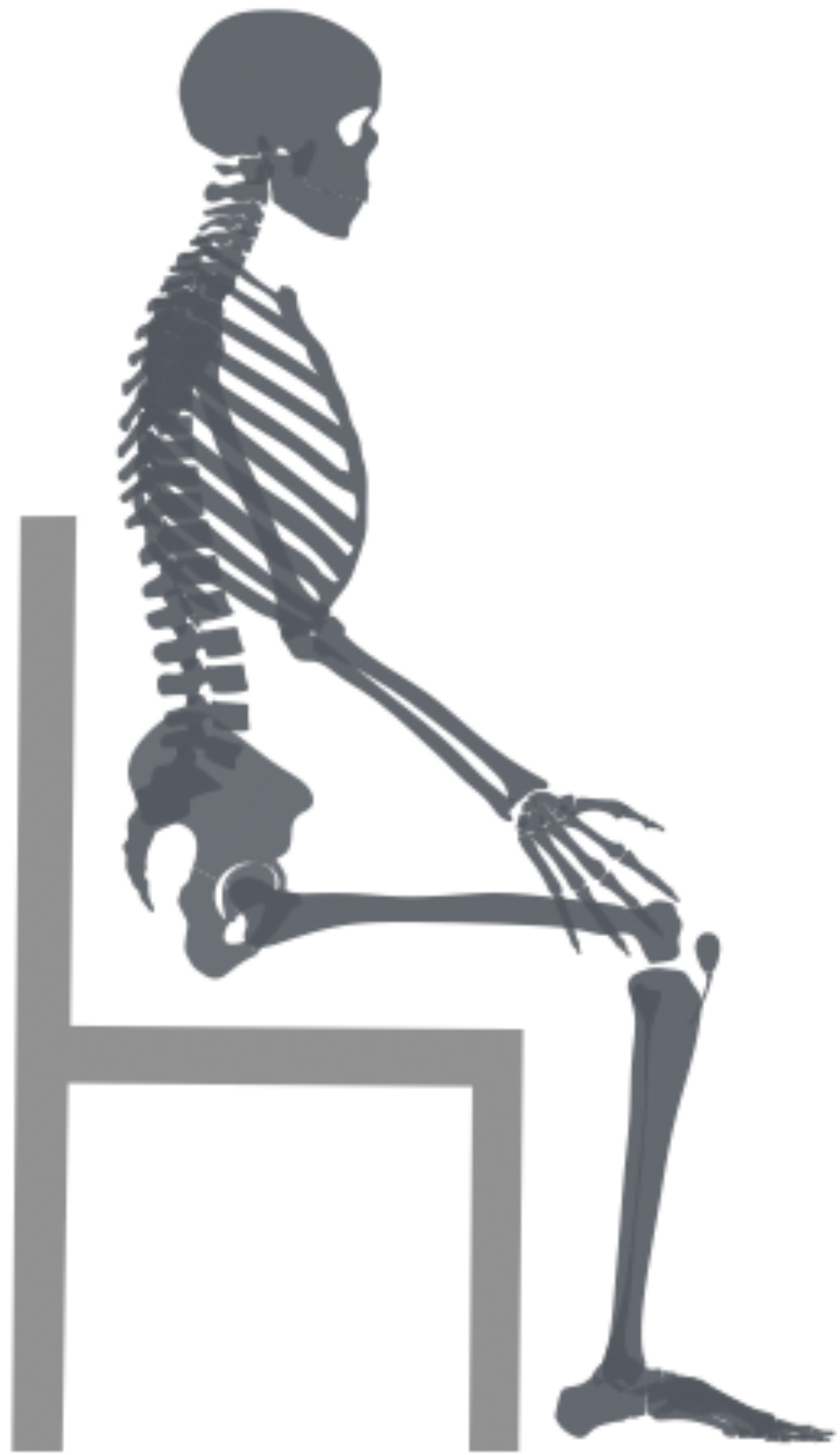
立ち上り

立位

基本動作というのは、全ての動作における基本（基礎・基盤）になる部分、この基本が障害されるとその上にある全ての動作に問題が発生する。基本動作の獲得は地球上で生活するという行為において最も大切な能力である。

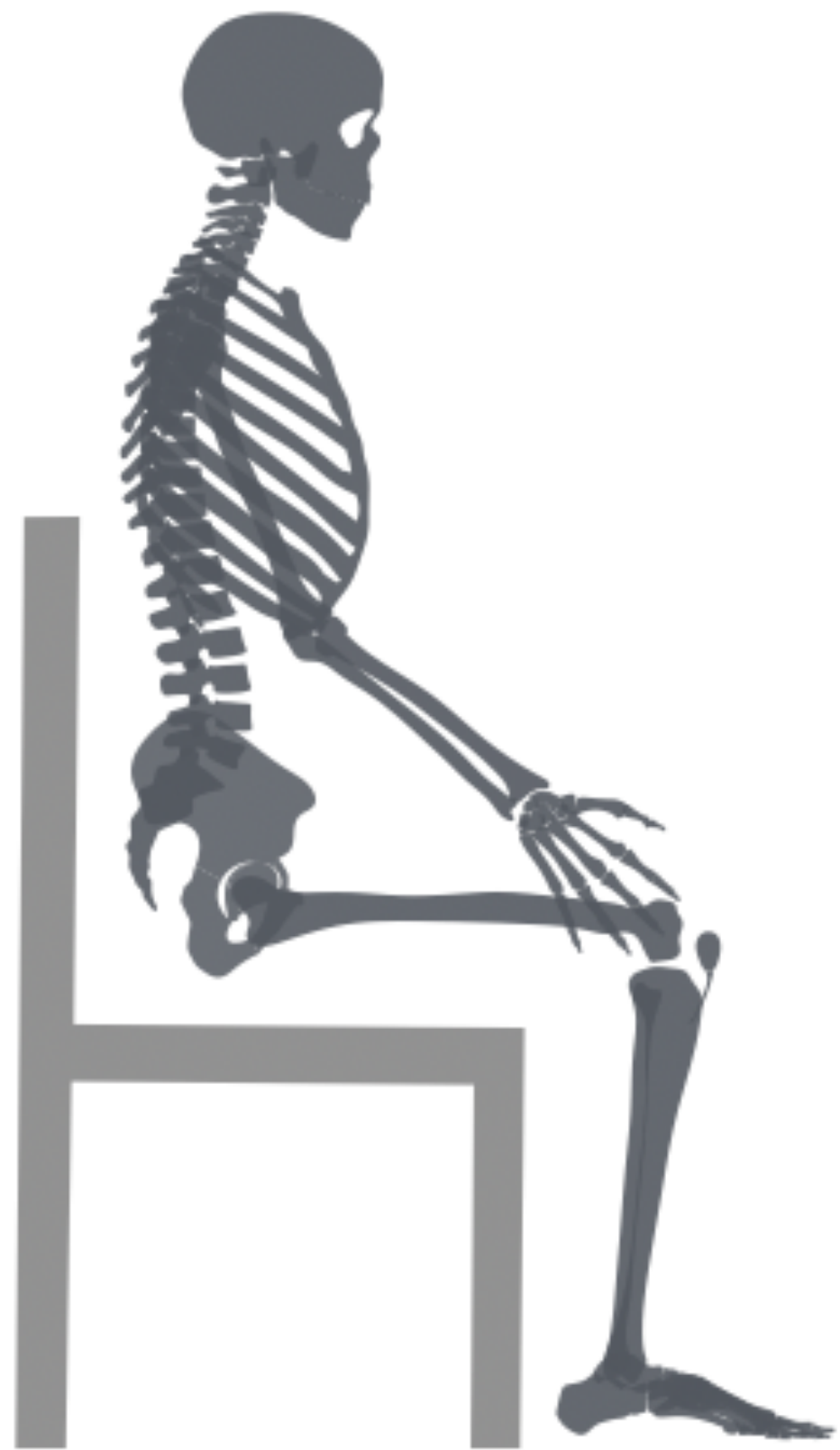
# 座位の目的って何？何のために座位を取るの？

目的① 移動・セルフケア・認知などに応じた  
姿勢変化ができること



# 座位の目的って何？何のために座位を取るの？

目的① 移動・セルフケア・認知などに応じた  
姿勢変化ができること

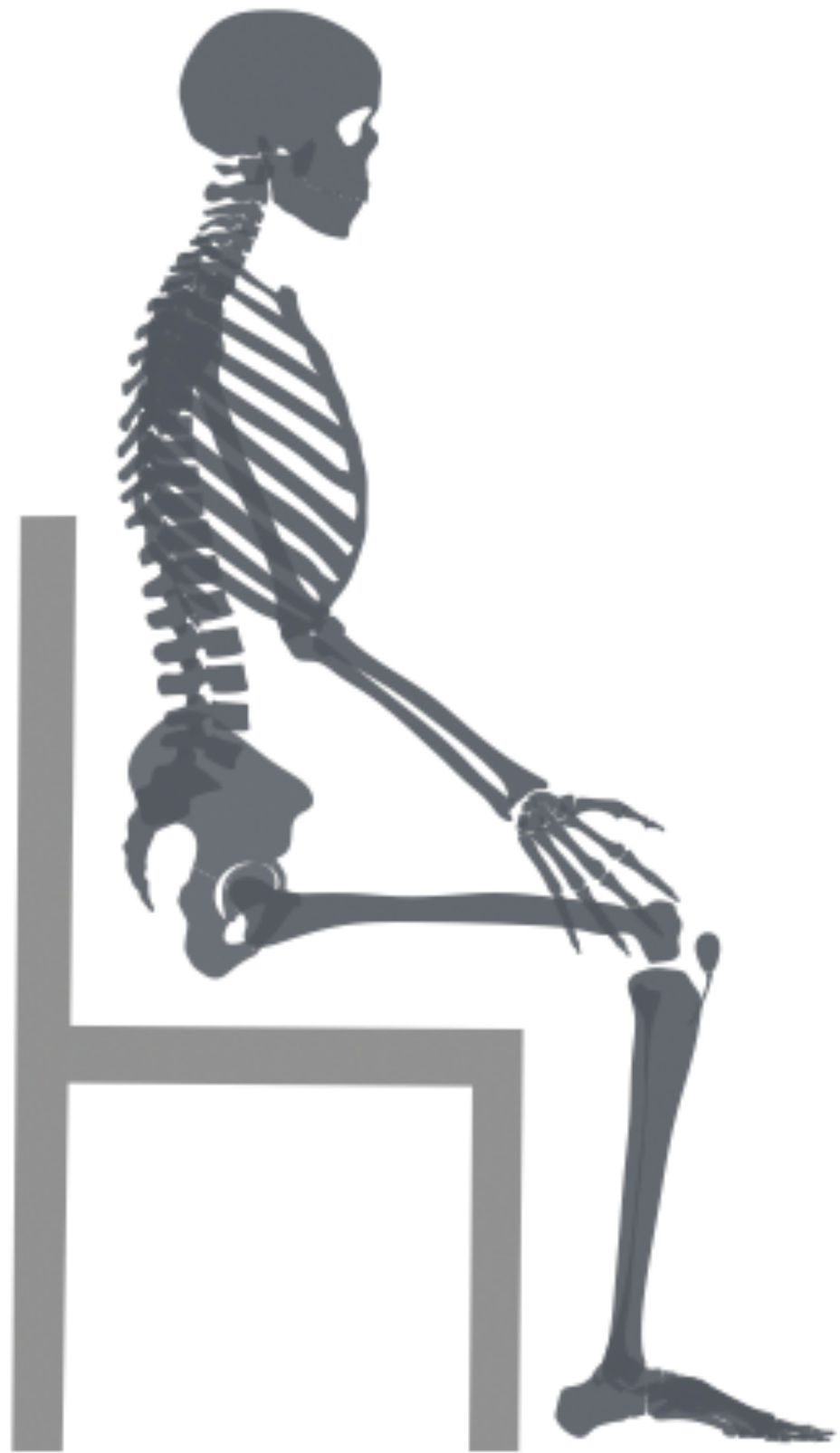


目的②

# 座位の目的って何？何のために座位を取るの？

目的① 移動・セルフケア・認知などに応じた  
姿勢変化ができること

目的② 休憩○





# シーティングって何？

対象：椅子・車椅子を利用して生活する人 **何をするのに？**

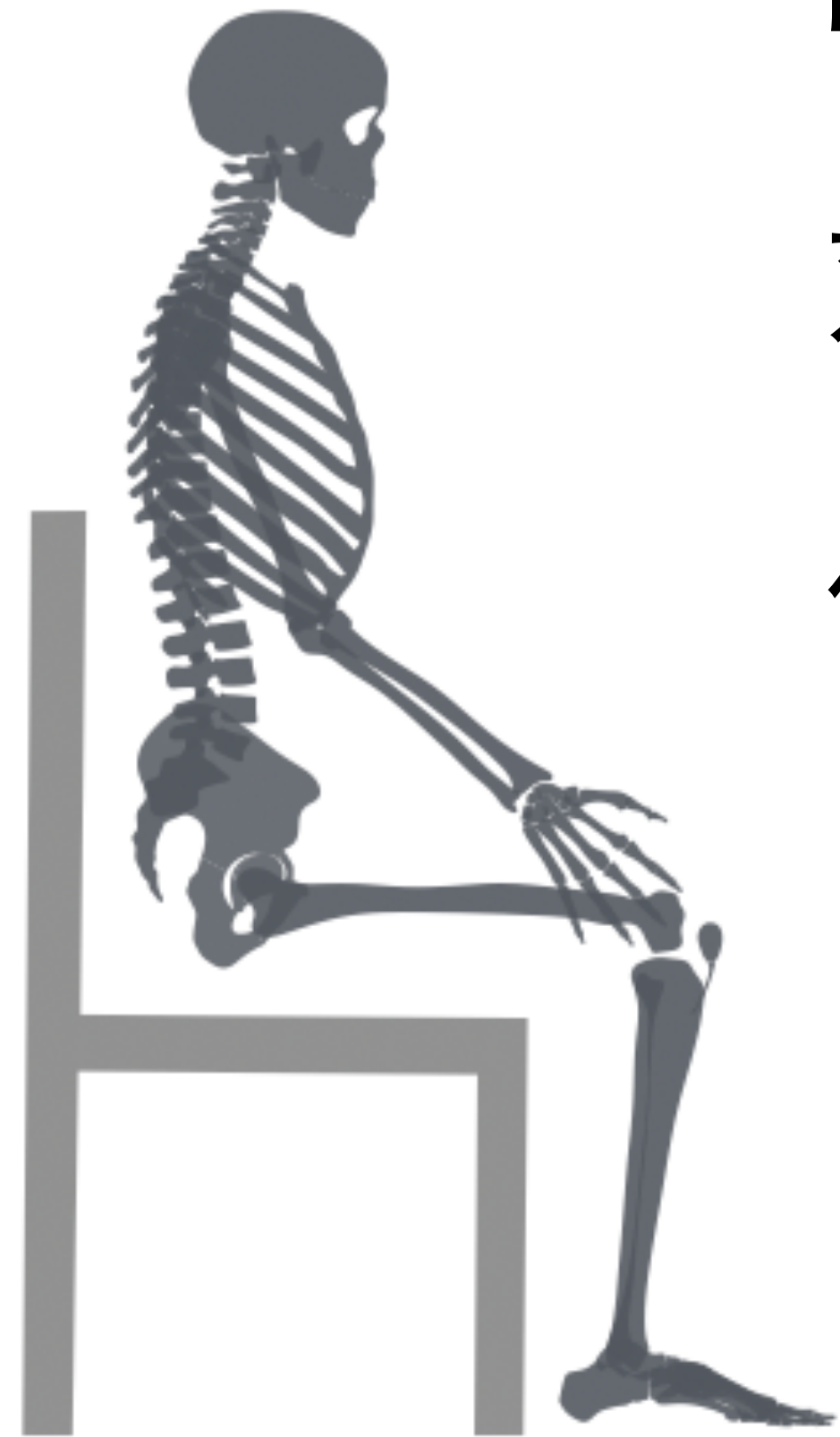
何をするのに？：座位に関する<sup>①</sup>**評価**と対応

対応って何？：機器の選定、調整、マネジメント

何のために？

①対象者等と共有した目標を達成できる適切な座位姿勢を実現するために。

②二次的障害の予防、活動と参加の促進、心身機能・構造の改善を促すために。

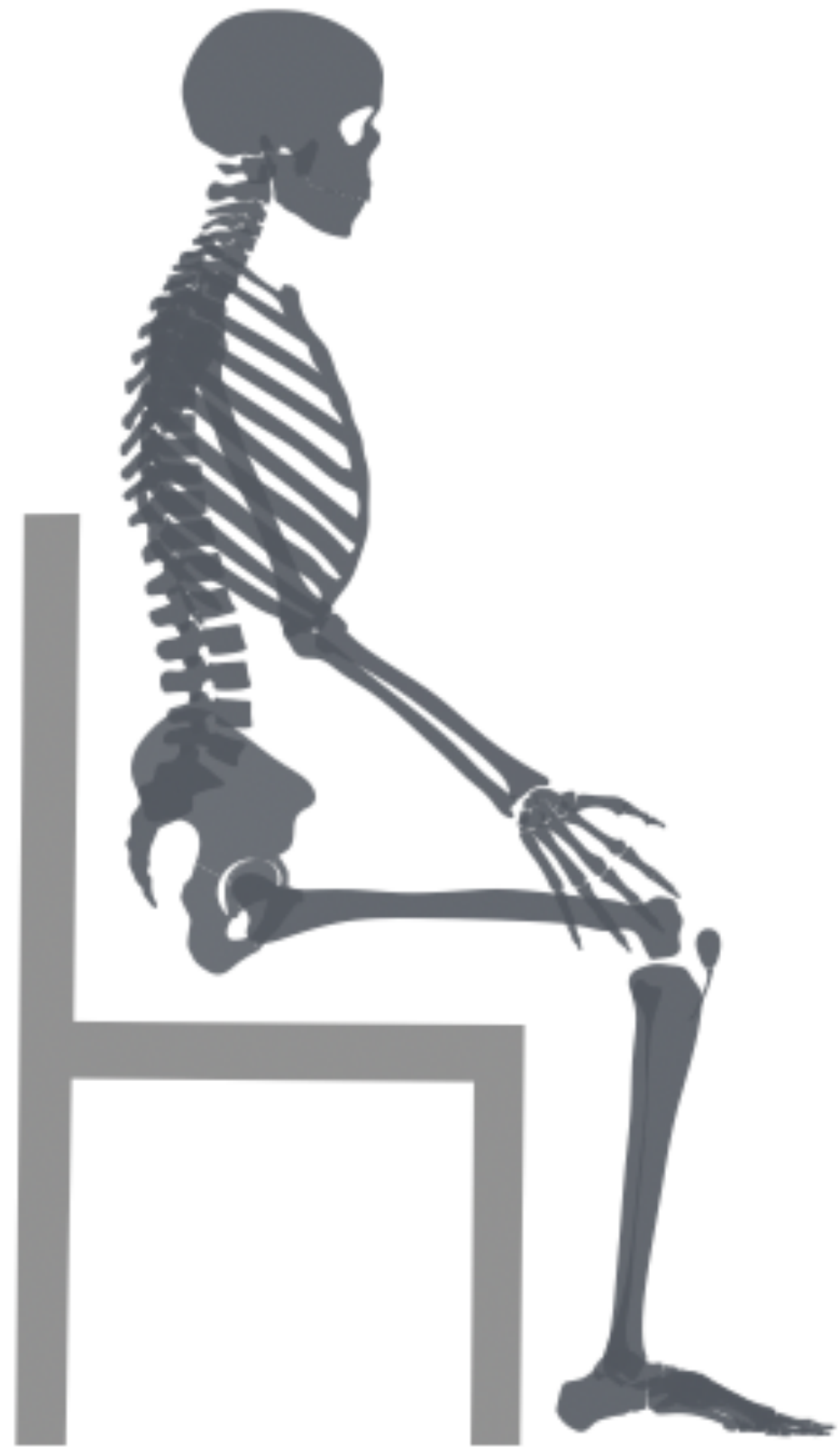




# 座位の目的って何？何のために座位を取るの？

目的① 移動・セルフケア・認知などに応じた  
姿勢変化ができること

目的② 休憩○

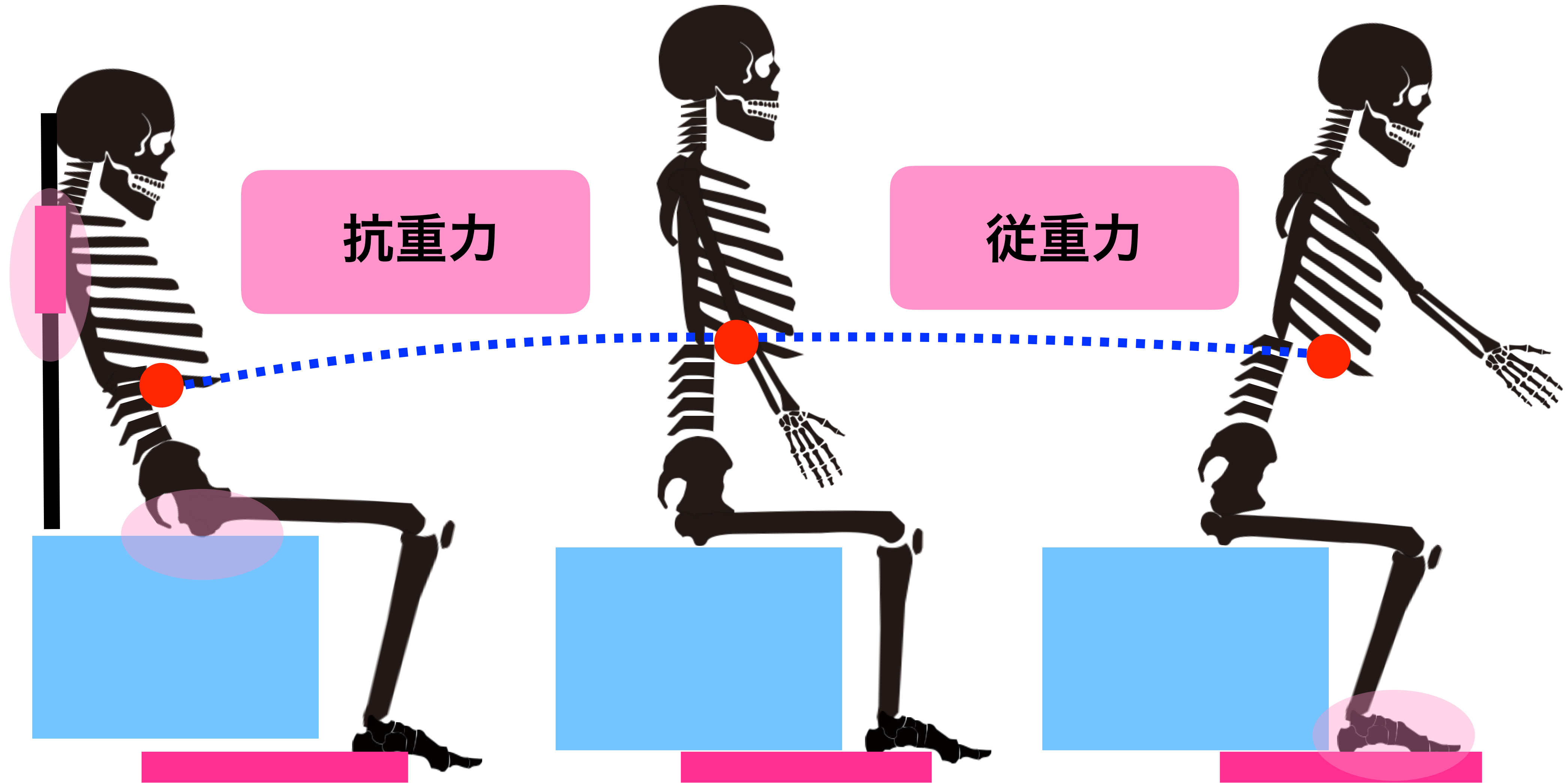


この2つの機能が達成できているか？  
そのための、座位評価が  
シーティングには必要である。

# 座位の目的って何？何のために座位を取るの？

目的② 休憩○

目的① 移動・セルフケア・認知などに  
応じた姿勢変化ができること



# シーティングって何？

対象：椅子・車椅子を利用して生活する人

何をするの？：座位に関する**評価**と対応

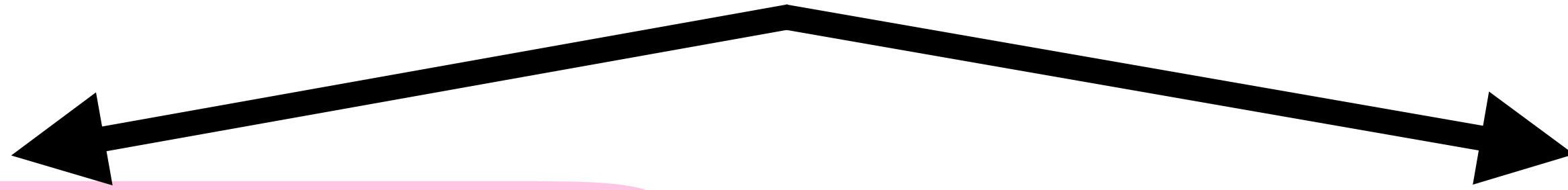
対応って何？：**機器の選定、調整、マネジメント**

何のために？

- ①対象者等と共有した目標を達成できる適切な座位姿勢を実現するために。
- ②二次的障害の予防、活動と参加の促進、心身機能・構造の改善を促すために。



シーティング (seating) とは？



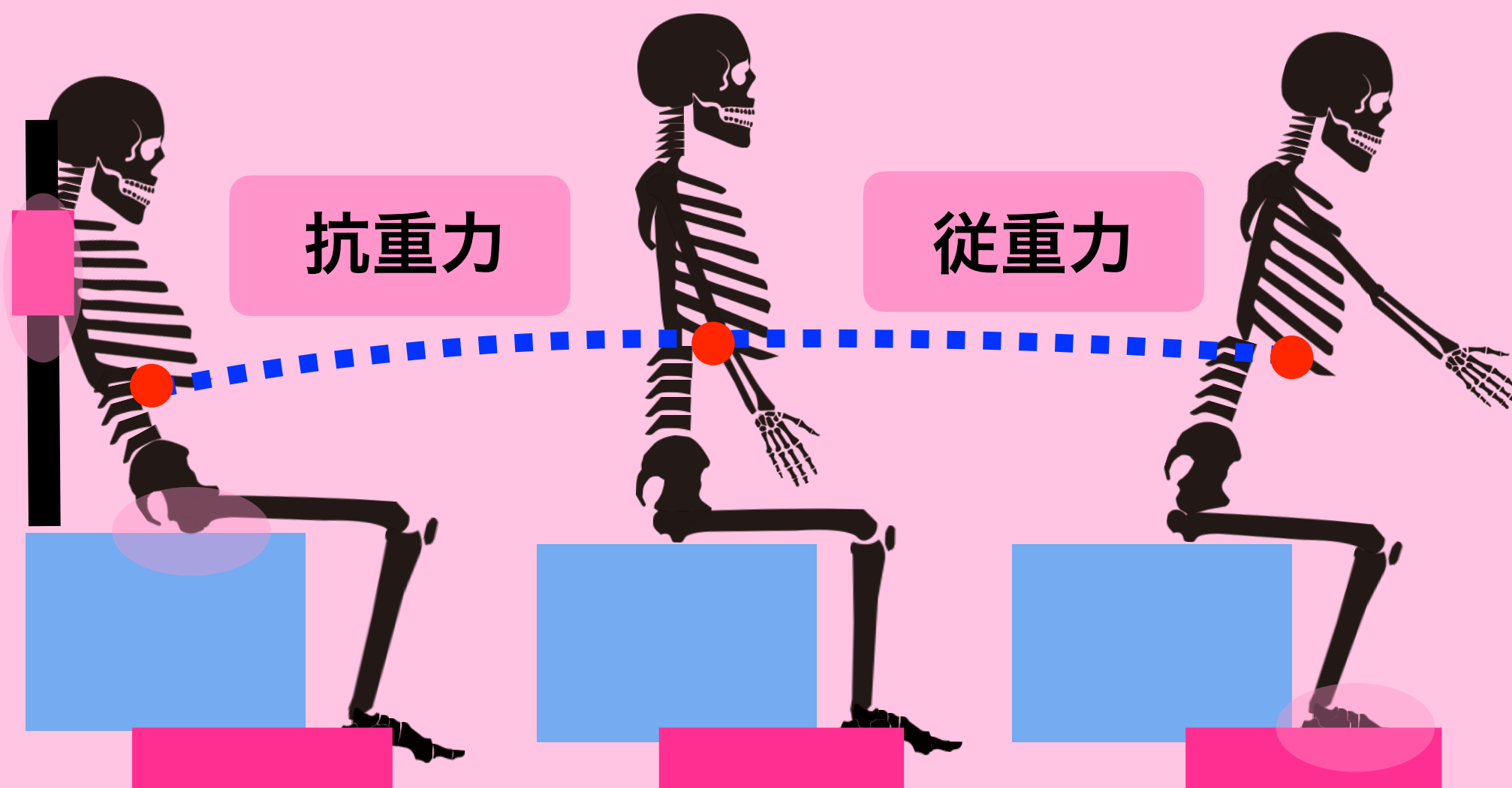


# シーティング (seating) とは？

## sitting

座位に関する評価・対応

ADL上で必要な座位姿勢の評価



## chair

椅子 (車椅子)

車椅子の選定・調整・マネージメント

椅子の評価



車椅子の評価





# シーティングって何？

対象：椅子・車椅子を利用して生活する人

何をするの？：座位に関する評価と対応

対応って何？：機器の選定、調整、マネジメント

## 何のために？

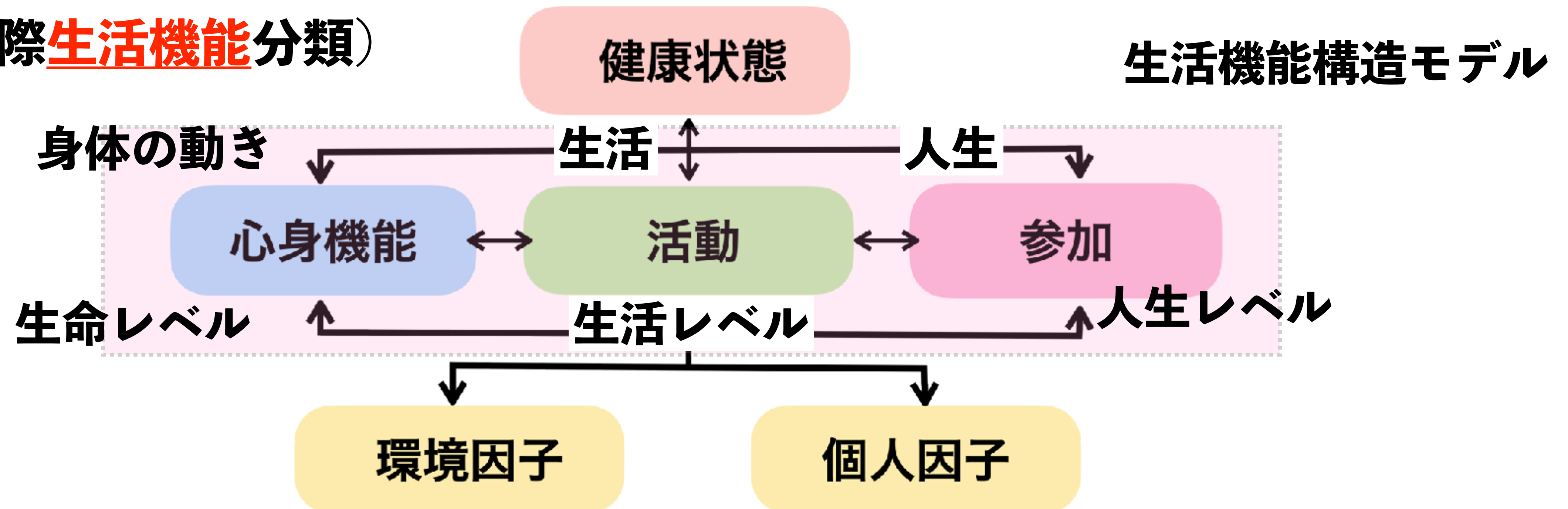
- ①対象者等と共有した目標を達成できる適切な座位姿勢を実現するために。
- ②二次的障害の予防、活動と参加の促進、心身機能・構造の改善を促すために。



# 何の為に？（参加：目標設定）

- ①対象者等と共有した目標を達成できる適切な座位姿勢を実現するために。
- ②二次的障害の予防、活動と参加の促進、心身機能・構造の改善を促すために。

## ICF（国際生活機能分類）





# 何の為に？（参加：目標設定）

希望（ニーズ）

健康状態

環境因子

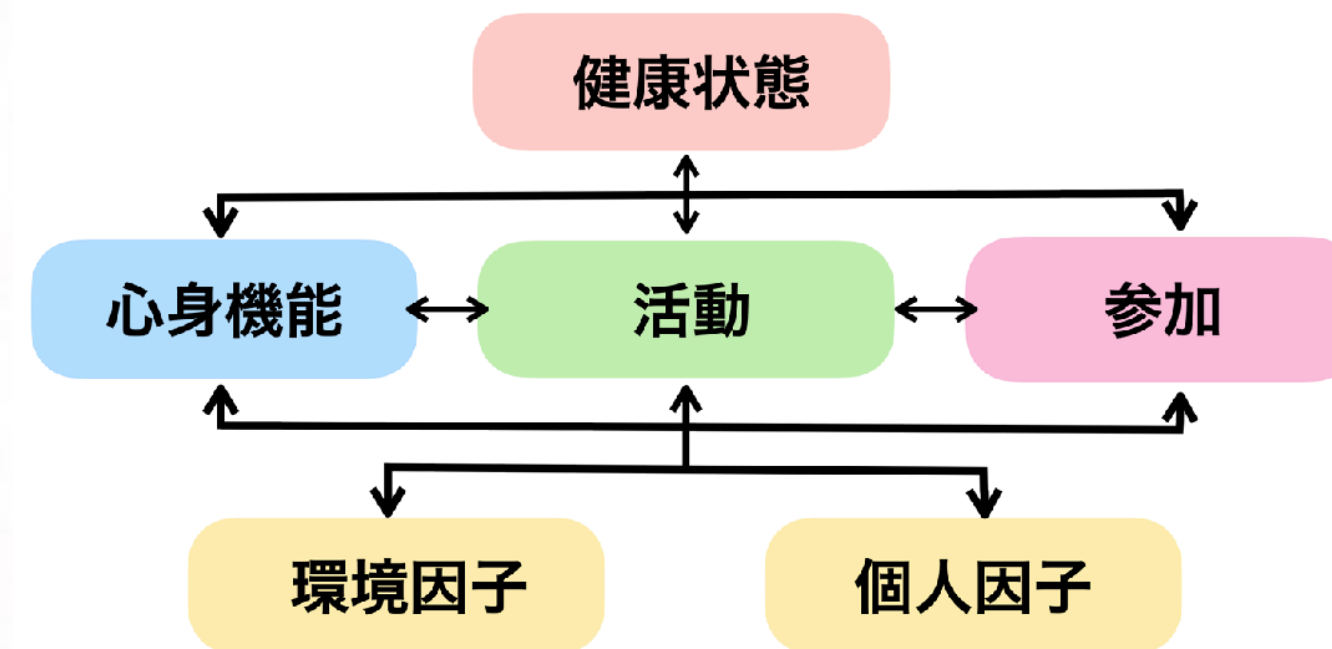
参加

活動

心身機能

活動

目標設定



リハビリ計画

ICFを用いて『個別性』をアセスメントすることが重要

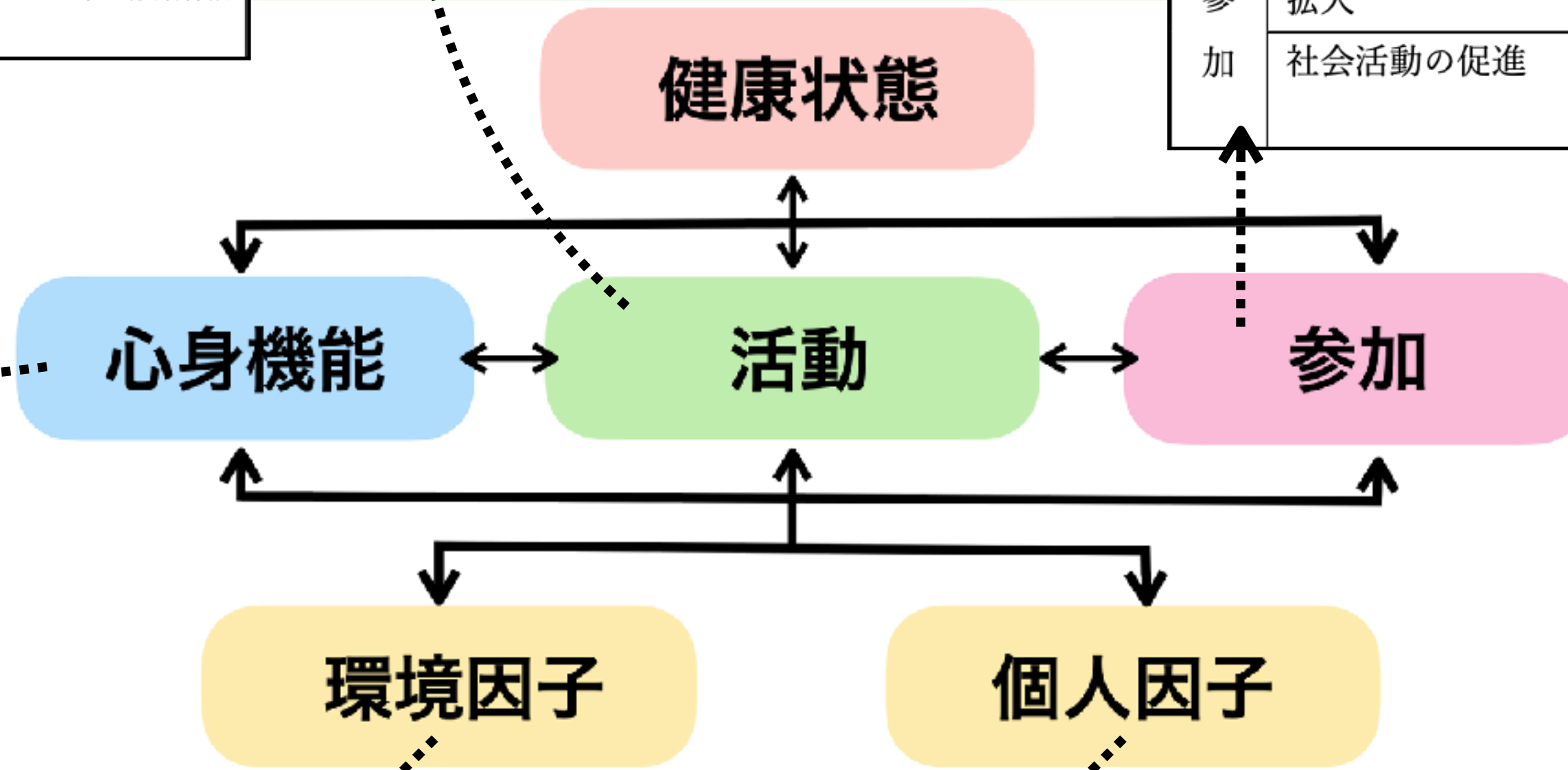


# ICFに基づいたシーティングの目的

	目的	高齢者における具体例
心身機能・構造	心肺機能の改善	寝たきりの状態から座位に体位変換することにより、循環機能や呼吸機能の改善が期待される
	消化、排泄機能の改善	便秘の改善等
	傍脊柱筋の筋力維持・強化と姿勢制御	寝たきりの状態から座位に体位変換することにより重力に逆らった姿勢となり、体幹周囲筋が活動する機会が増える
	摂食・咀嚼・嚥下と食事姿勢の改善	シーティングにより体幹、頭部、顎部が安定し、唇や舌の動きが改善し、嚥下機能の改善が期待される
	目と手の協調性、上肢機能の改善	シーティングにより体幹が安定することにより、上肢動作能力が向上する

活動	日常生活の活動性向上	シーティングにより体幹が安定することにより、食事・更衣・整容といった上肢を用いた動作の自立度が向上する
	移動能力の向上	シーティングにより体幹安定、上肢動作が向上し、車椅子自走、介助での移動、電動車椅子の操作等が容易になり、移動能力が拡大する

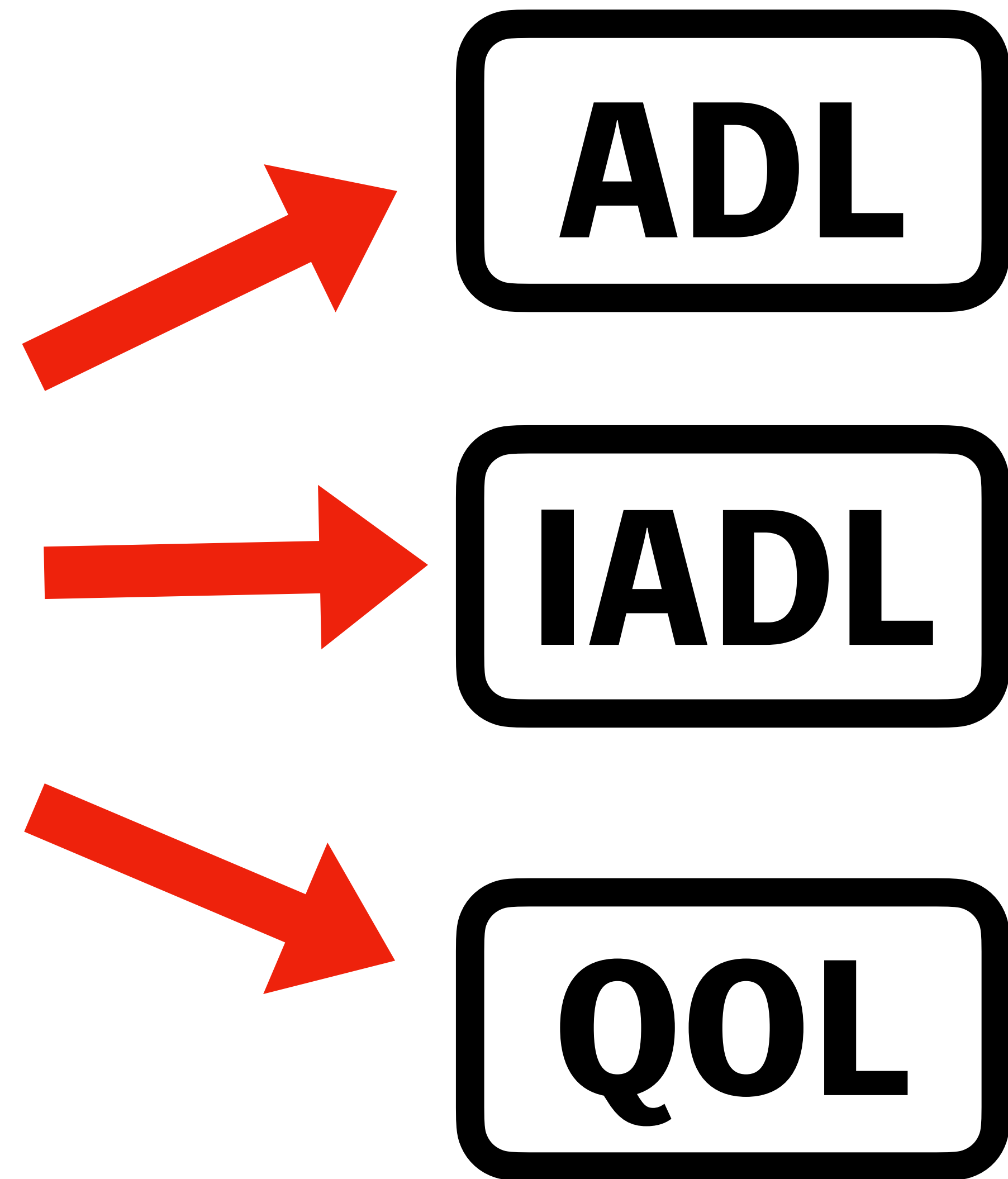
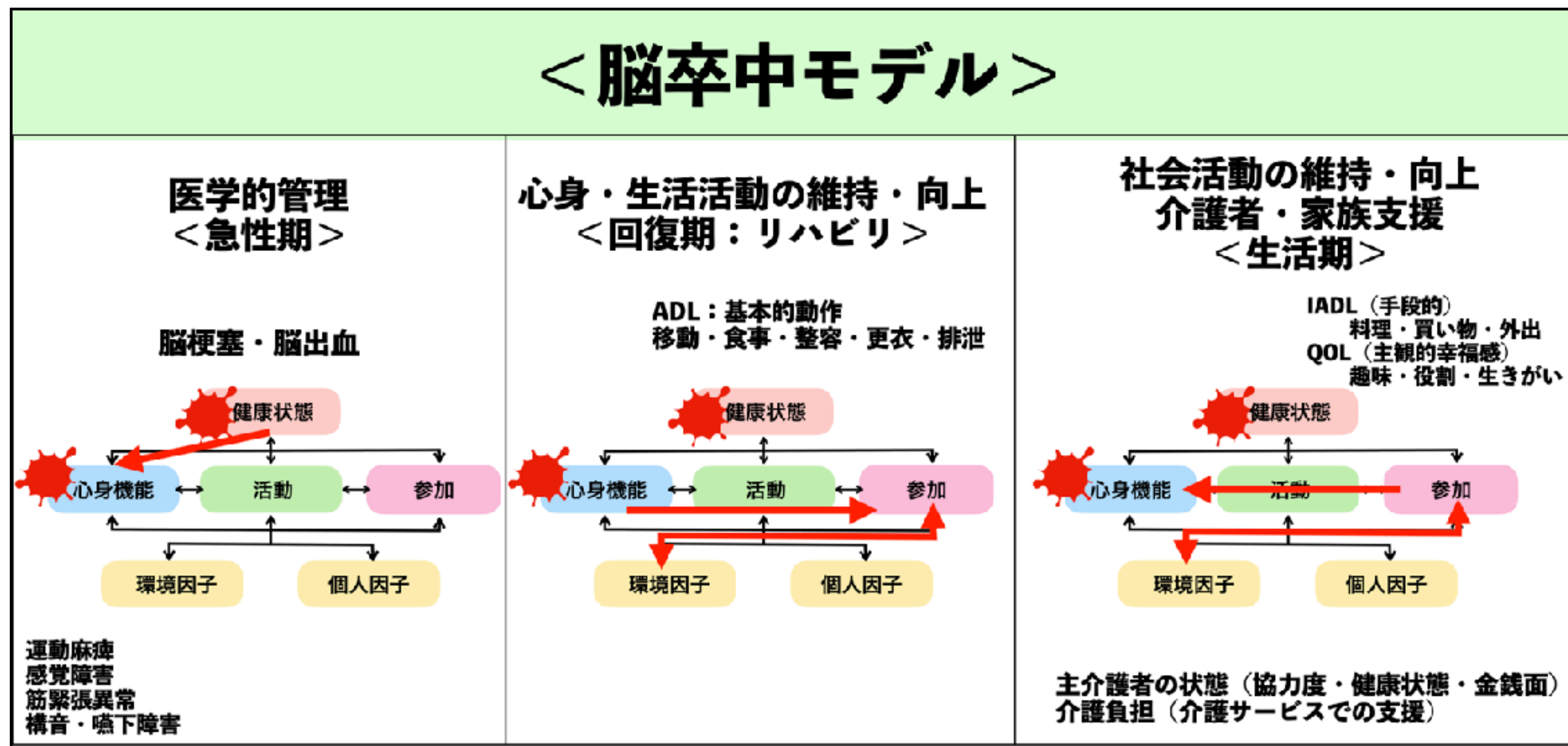
参加	コミュニケーションの拡大	視界や活動範囲が拡大することにより、介護スタッフや他の入居者等とのコミュニケーションの機会が増える
	社会活動の促進	活動範囲の拡大・コミュニケーションの拡大により、社会活動への参加の機会が増える



環境因子	介護支援の容易化	適切な座位姿勢は介護を容易にする。例えば、仙骨座りが原因で、移乗介護時に前方及び後方から支える必要がある高齢者に対してシーティングを実施することにより、前方からの介護者1人だけで移乗介護ができるようになる場合がある。
------	----------	--

個人因子	活動・参加に対する意欲の向上	シーティングを実施することで、高齢者の希望に応じた時間、無理がなく、痛みがなく、安楽に座ることができ、また、視界や活動範囲の拡大により活動・参加の意欲が高まる
------	----------------	---

# シーティングの目標設定の3つの分類





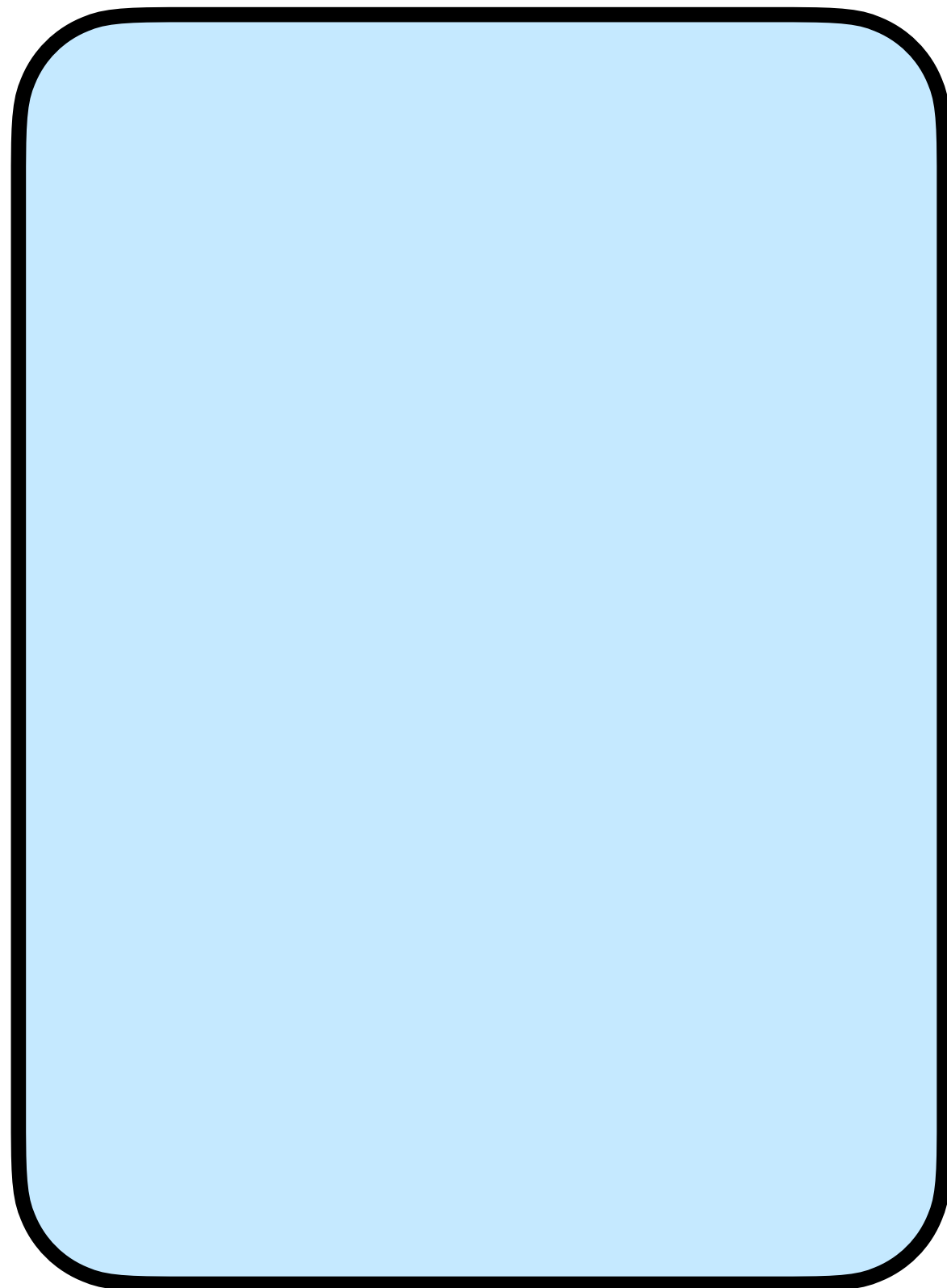
# 食事動作に繋がるシーティング

- ①シーティング (seating) とは？
- ②食事動作に必要なシーティングについて  
→車椅子シーティングの段階な目標設定・必要な構成要素
- ③症例を通して考える

# 食事動作に必要なシーティングングについて

健康状態：脳卒中・嚥下障害

身体機能



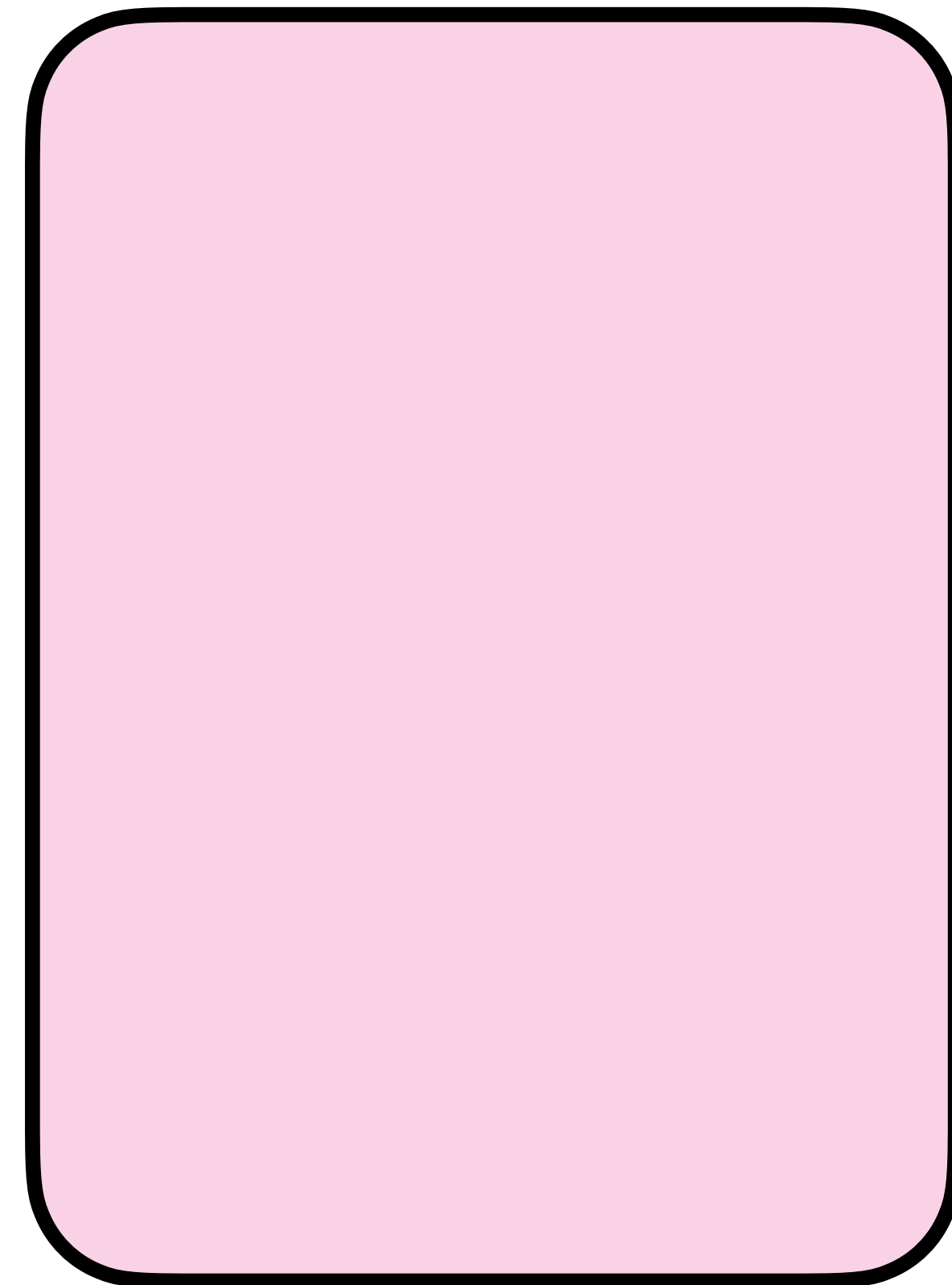
運動

活動



動作

参加



行為

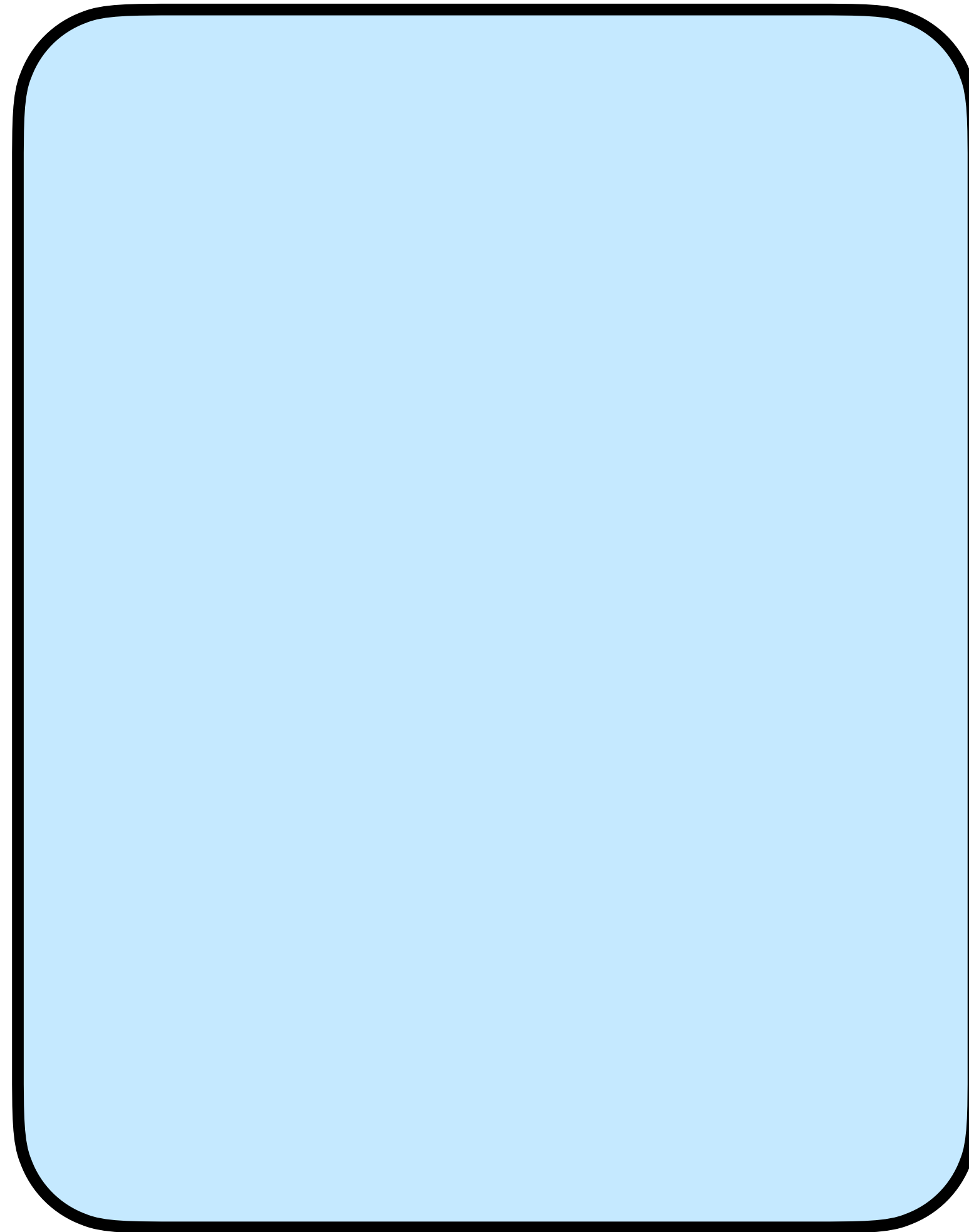
# 食事動作に必要なシーティングについて

健康状態：脳卒中・嚥下障害

身体機能

活動

参加



運動

動作

行為

車椅子で  
食堂にご飯を  
食べに行く

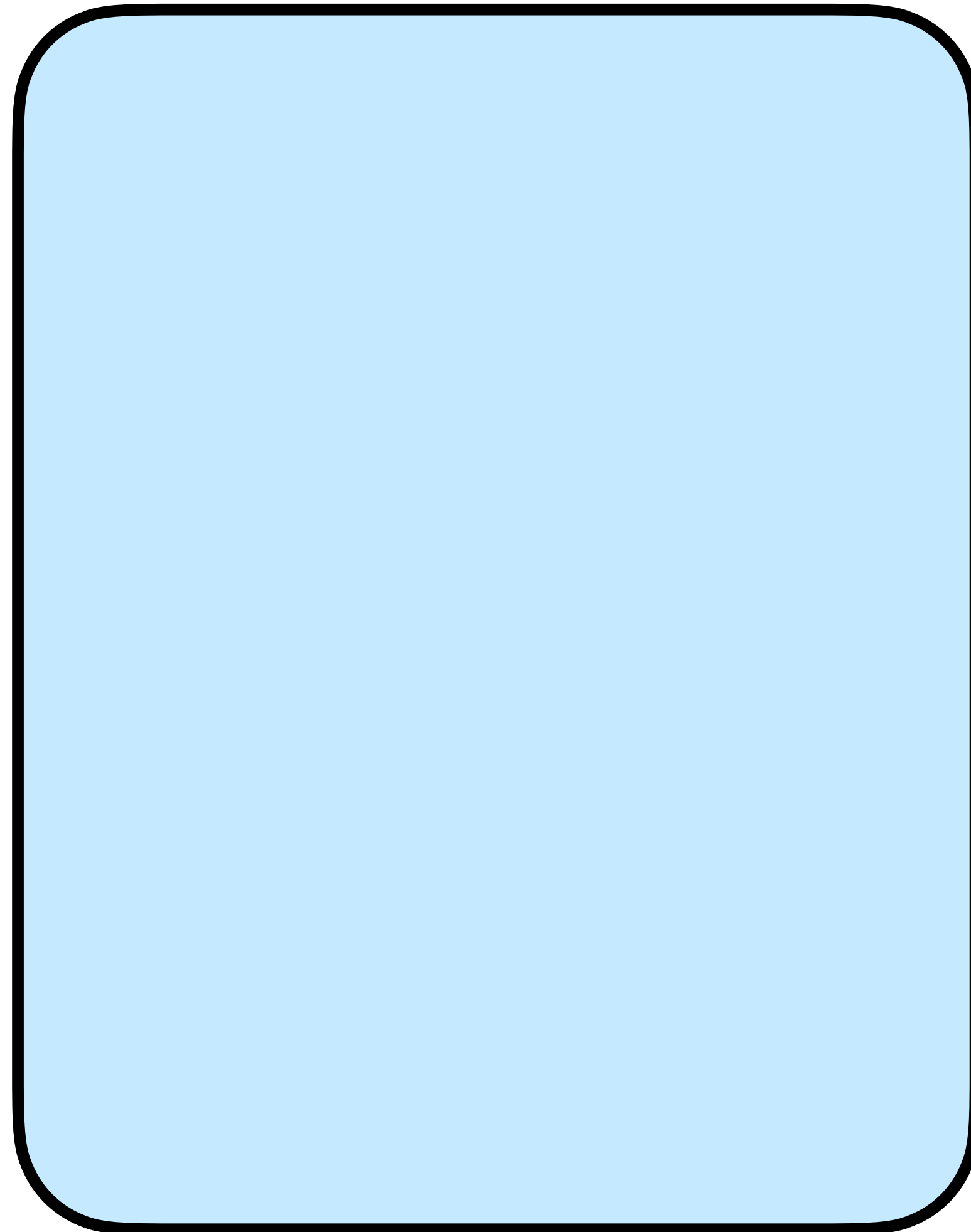
# 食事動作に必要なシーティングについて

健康状態：脳卒中・嚥下障害

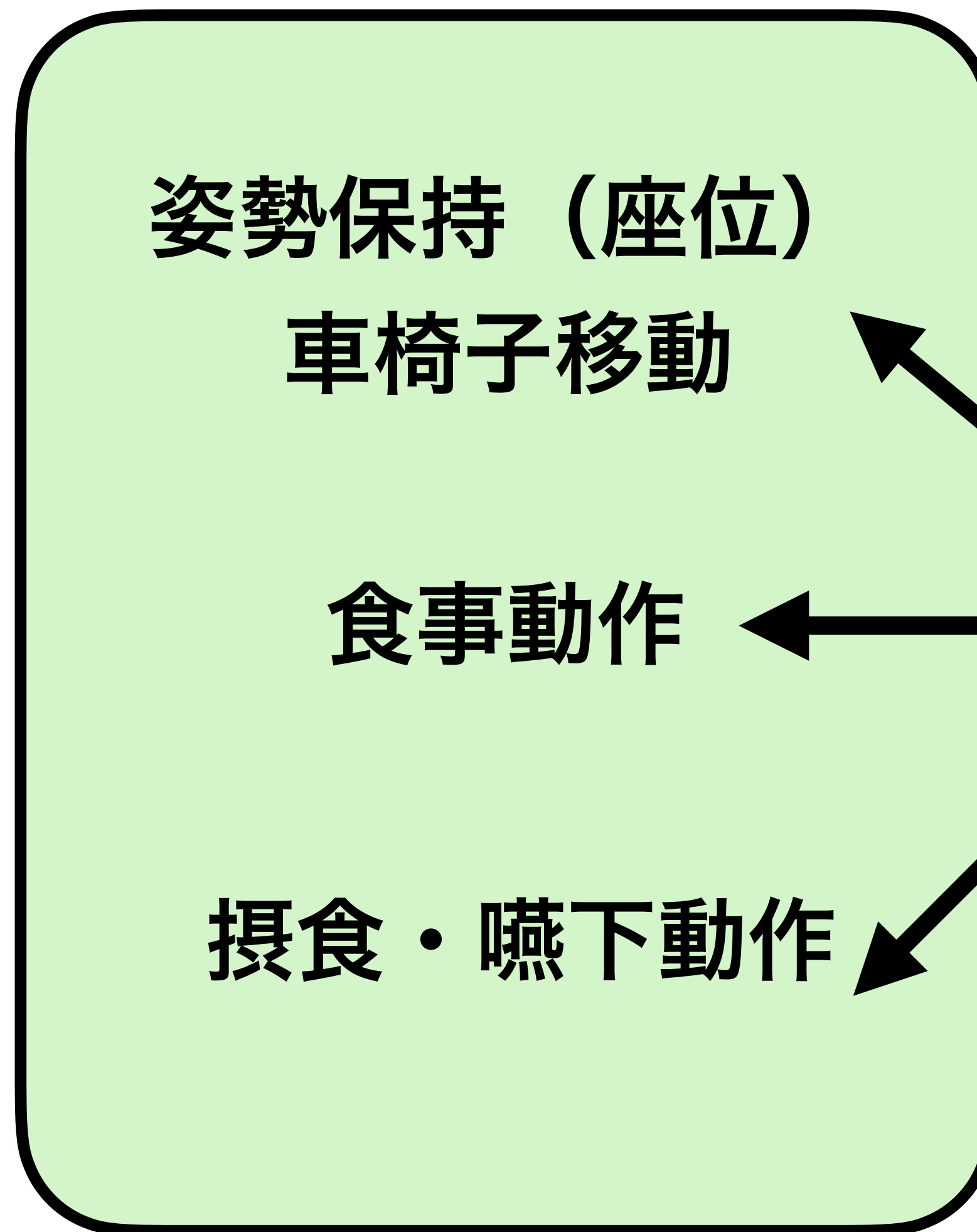
身体機能

活動

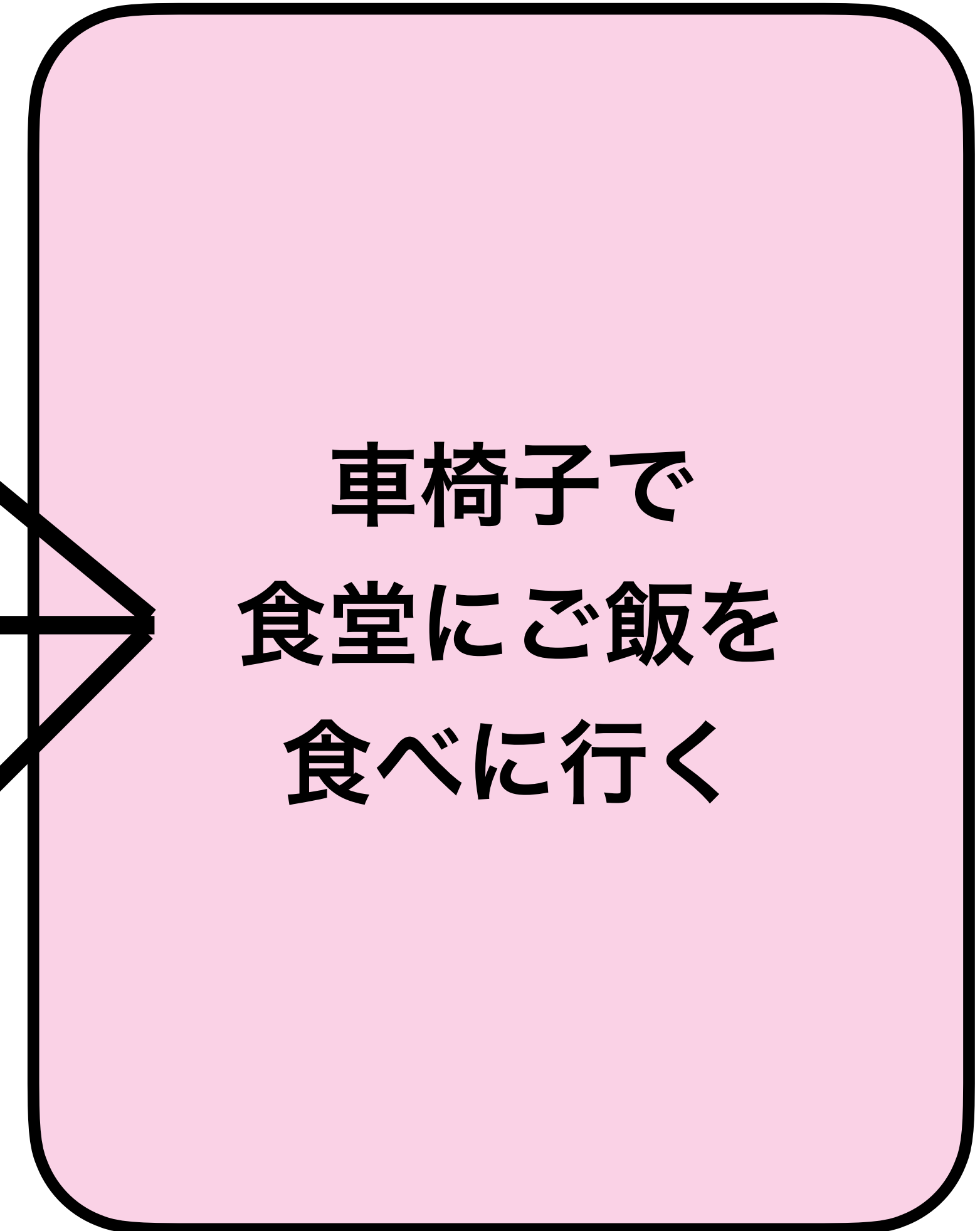
参加



運動



動作



行為

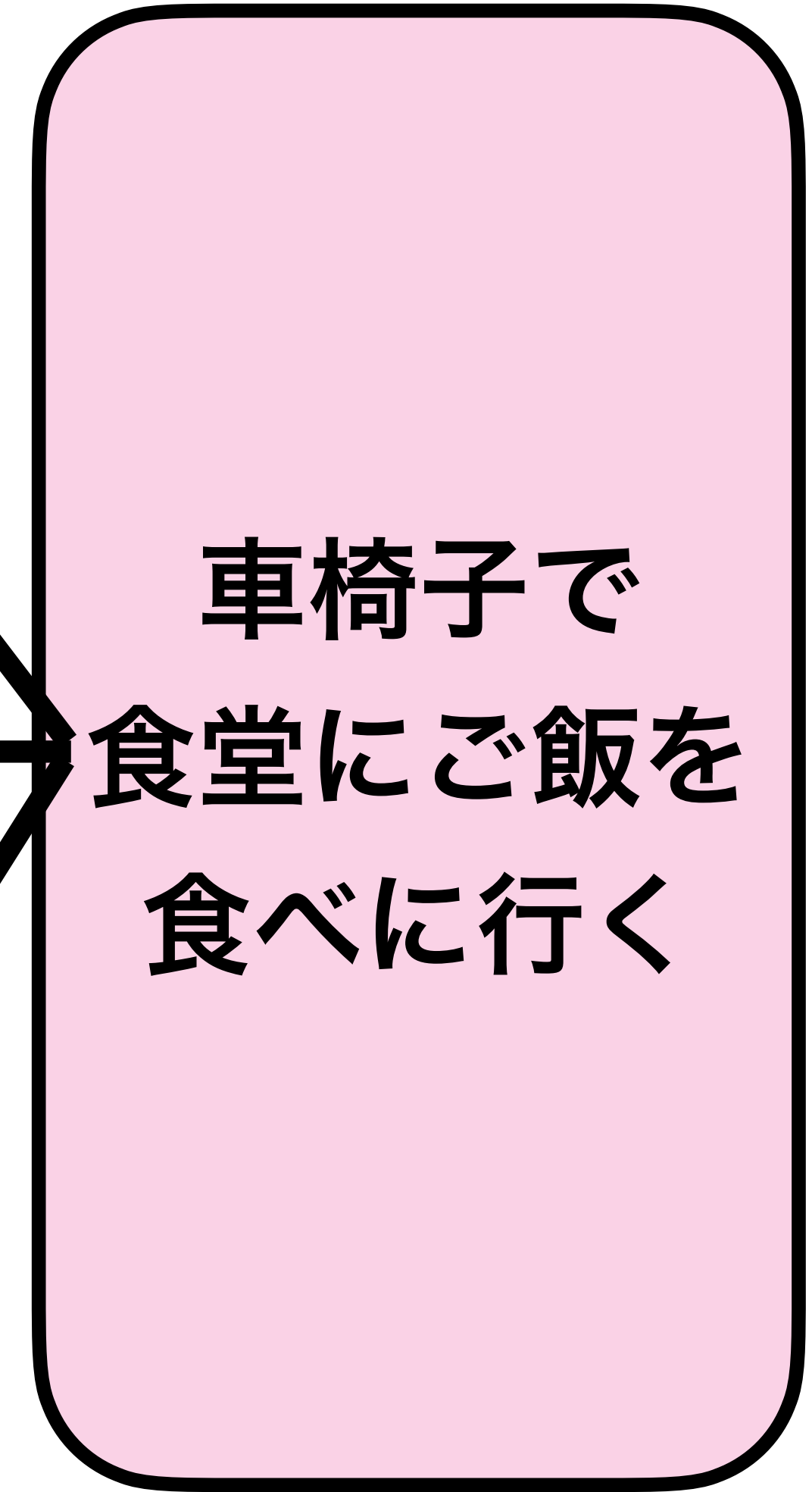
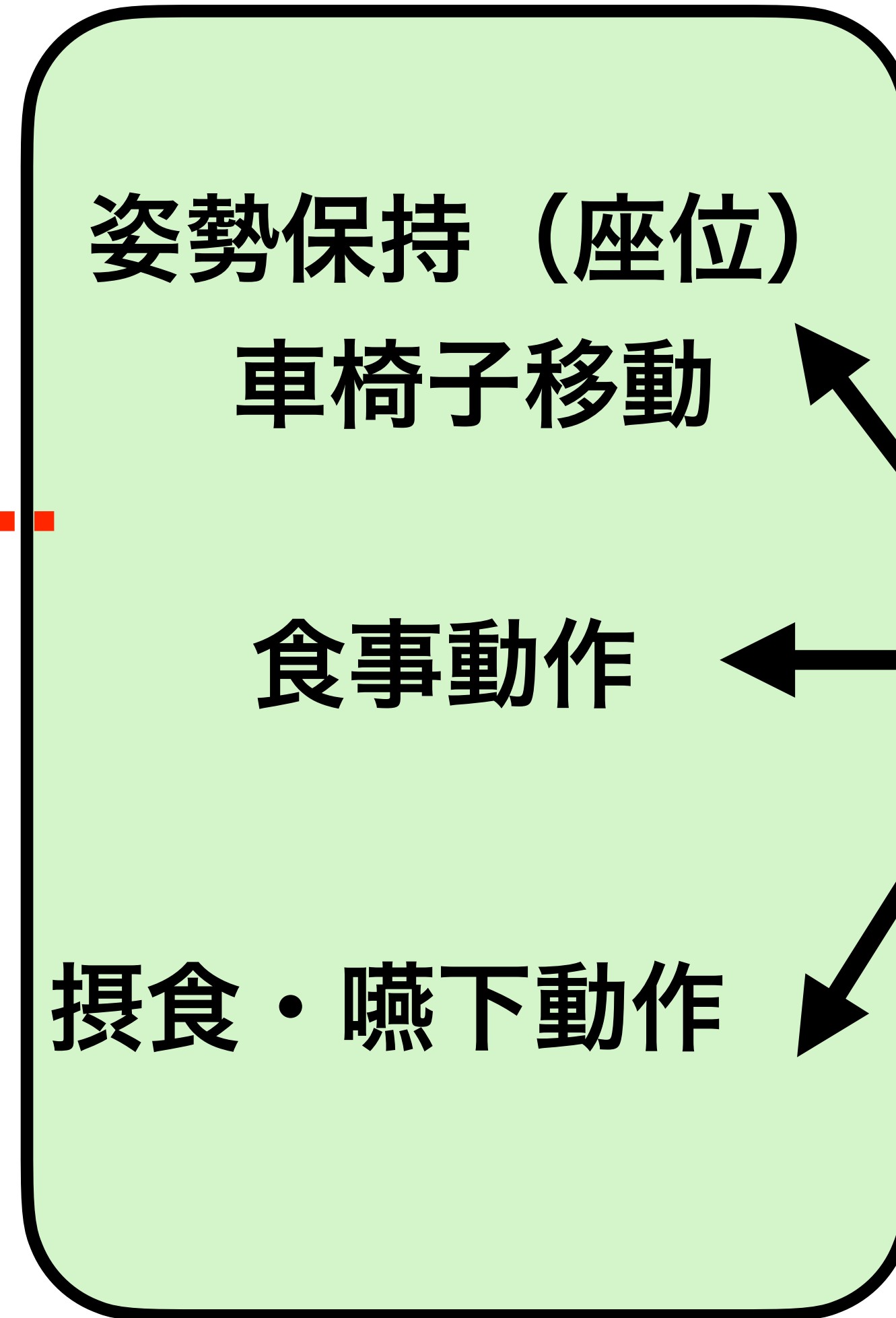
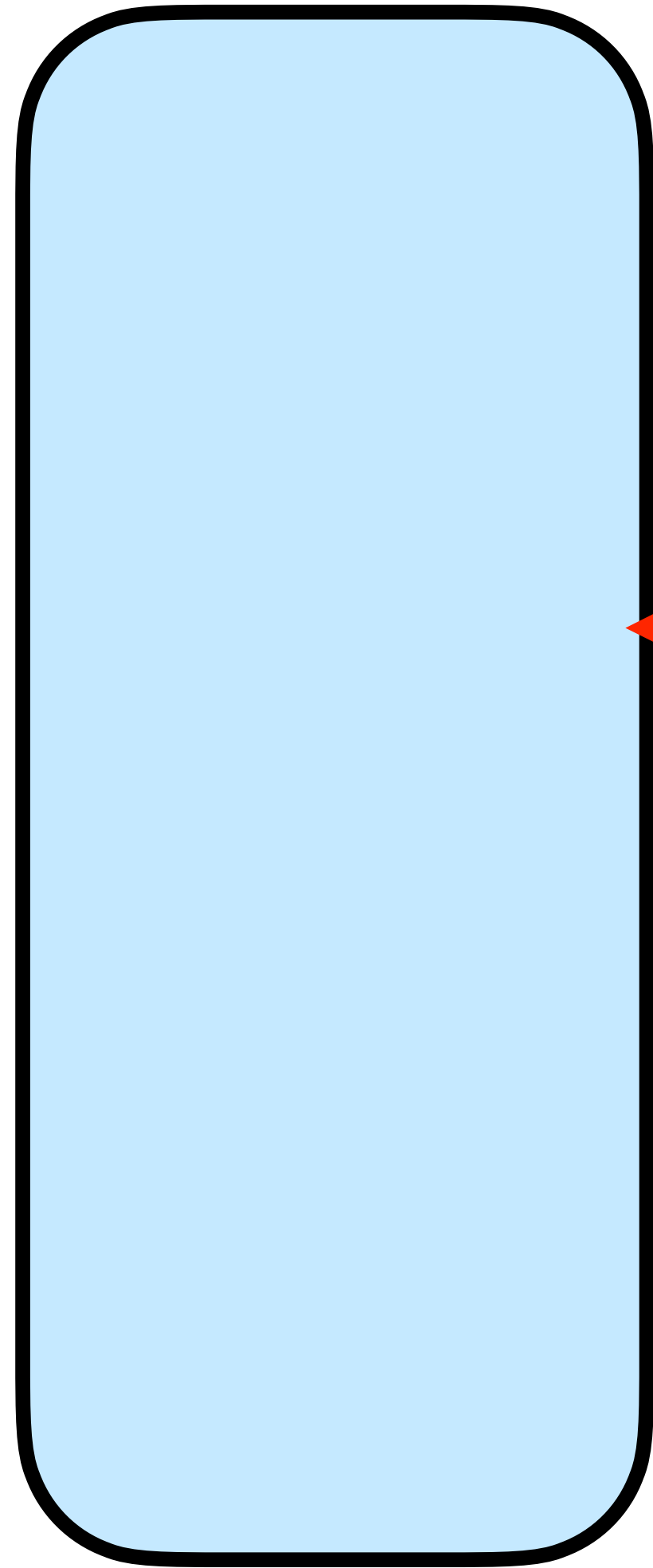
# 食事動作に必要なシーティングについて

健康状態：脳卒中・嚥下障害

身体機能

活動

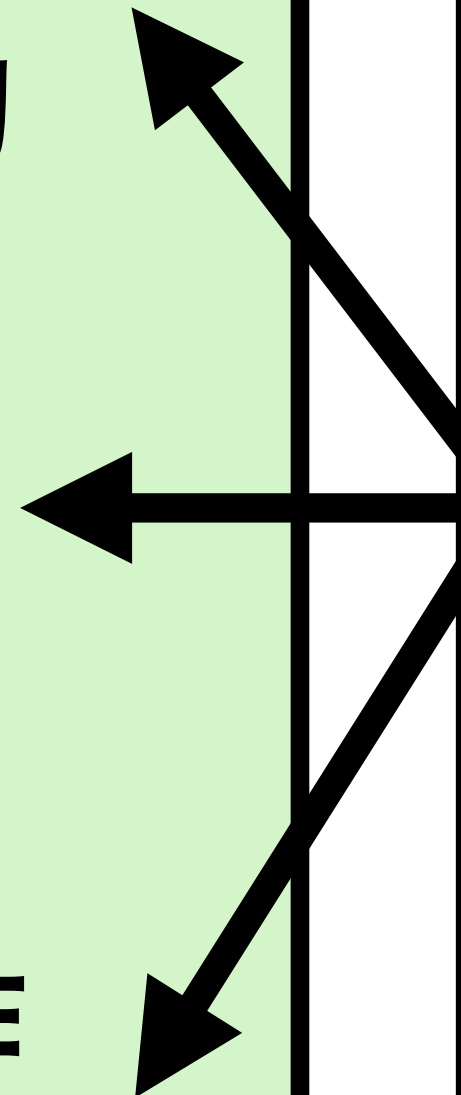
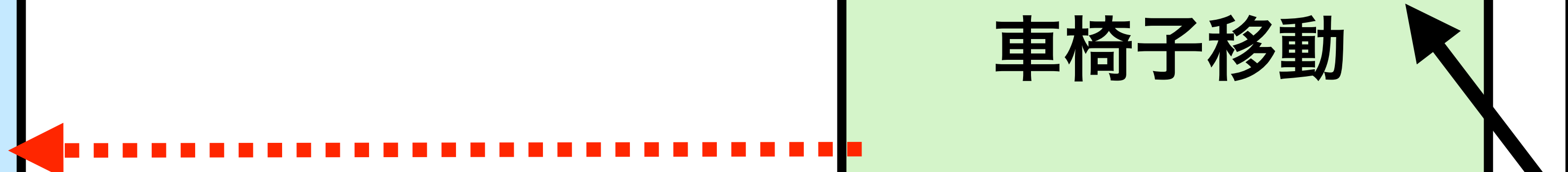
参加



運動

動作

行為





# 車椅子ADLの段階な目標設定・必要な構成要素

座位時間の向上（離床）  
→ 廃用の予防・拘縮・心肺機能

## 車椅子座位保持能力の向上

- 前傾座位
- \* リクライニング型
- \* モジュール型
- \* 普通車椅子
- \* 椅子

Hoffer座位能力分類  
(JSSC版)

## < 車椅子上での前傾座位機能 >

- ① 座位機能 ⇔ 車椅子上での能力乖離
- ② 足部の位置・フットレスト
- ③ 股関節機能評価（可動域・屈曲&内転&内旋機能）
- ④ 車椅子上での重心移動評価

車椅子上での前傾座位機能  
上肢リーチ・物品操作  
移動（移乗）→ トイレ → 食事 → 整容

フットレストから足を降ろせる  
→ 姿勢・股関節&膝関節屈曲  
フットレストまでのリーチ  
足でフットレストを上げる（硬さ）

車椅子上で座り直しができる  
重心移動・前傾座位保持・上肢のpush-up

車椅子自操  
前傾座位保持  
上肢リーチイン・アウト、物品操作  
足で漕ぐ



# Hoffer座位能力分類 (JSSC版)

## 車椅子・クッションの選定例



**座位能力1**  
手の支持なしで  
座位可能



ウレタンフォームの  
座クッション (大人  
用クッションタイプ4)

普通型車椅子対応の  
座・背クッション (ノ  
ビットシステム)

ウレタンフォームを  
用いた著者自作の座  
クッション



**座位能力2**  
手の支持で  
座位可能



モジュラー車椅子  
(レボ)

ゲルとウレタンの複  
合クッション (デュ  
オジェルクッション)

空気とウレタンの複  
合クッション (ソロ  
PSV)



**座位能力3**  
座位不能



ティルト・リクライ  
ニング機能付き車椅  
子 (マイチルト)

空気調節式クッショ  
ン (ロホ・クアドトロ  
セレクト ハイタイプ)

ジェル状の流動体ク  
ッション (JAY J2  
クッション)

座位能力に応じたの  
車椅子・クッションを  
リアルタイムに選定



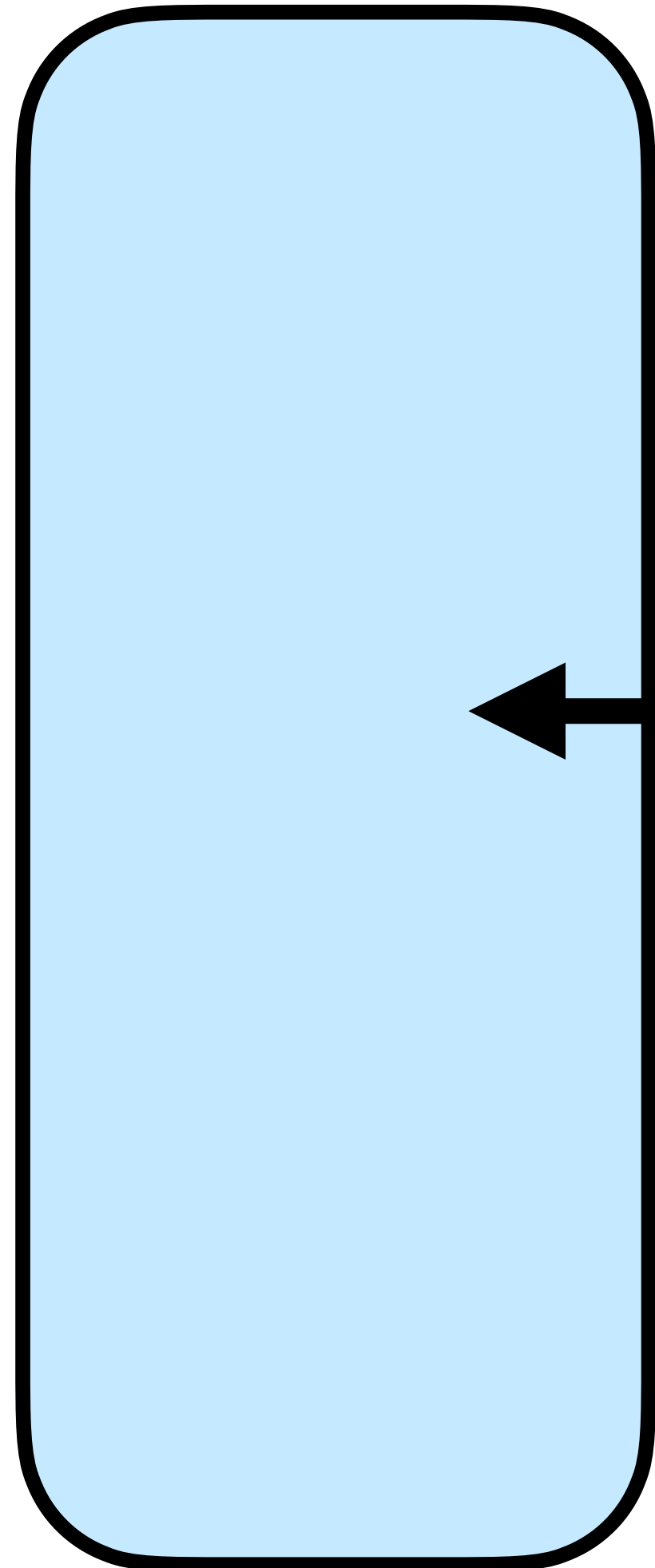
# 食事動作に必要なシーティングについて

健康状態：脳卒中・嚥下障害

身体機能

活動

参加

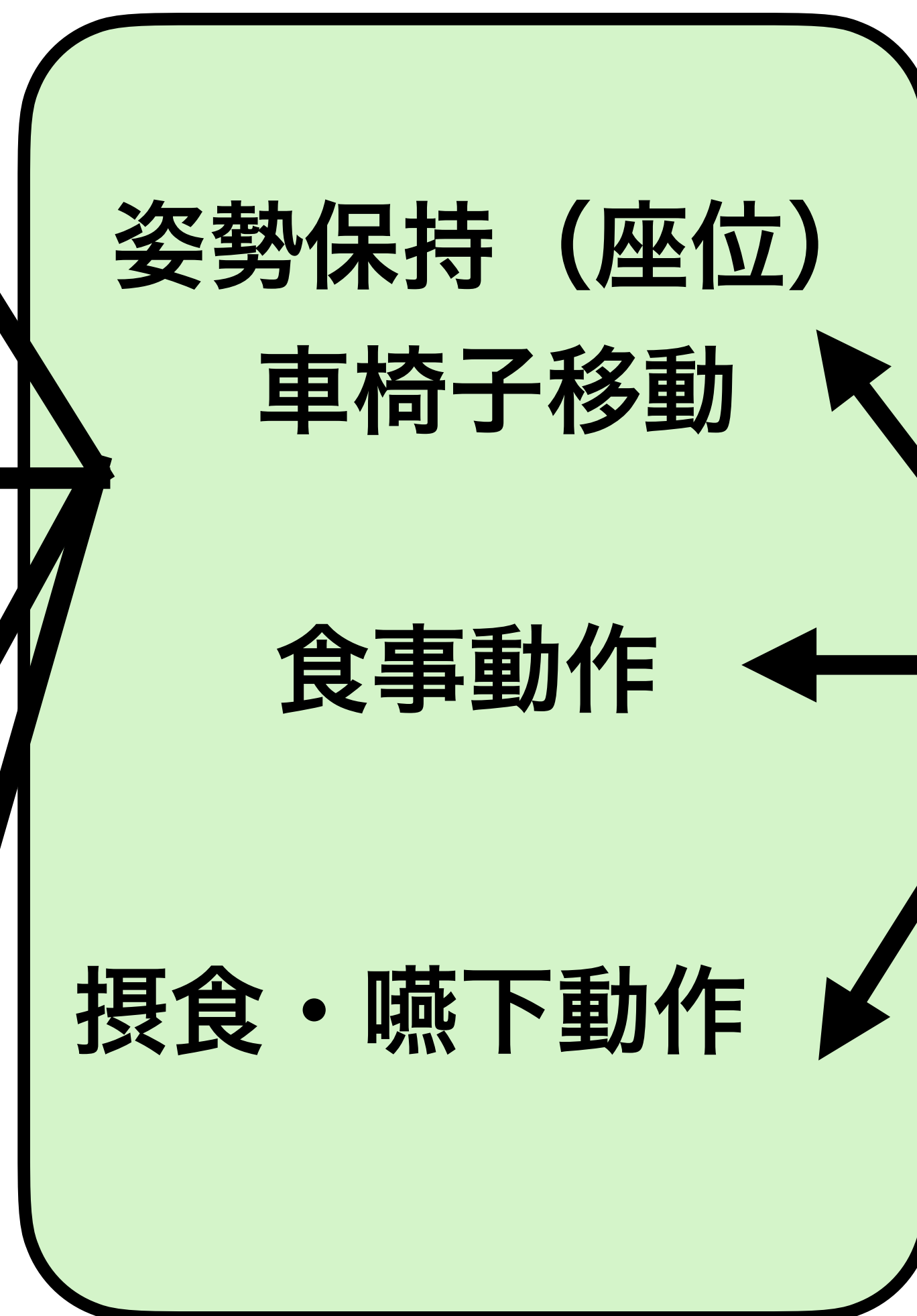


車椅子上での前傾座位機能  
上肢リーチ・物品操作  
移乗→トイレ→食事→整容

フットレストから足を降ろせる  
→姿勢・股関節&膝関節屈曲  
フットレストまでのリーチ  
足でフットレストを上げる（硬さ）

車椅子上で座り直しができる  
・重心移動  
・前傾座位保持  
・上肢のpush-up

車椅子自操  
前傾座位保持  
上肢リーチイン・アウト  
・物品操作 ・足で漕ぐ

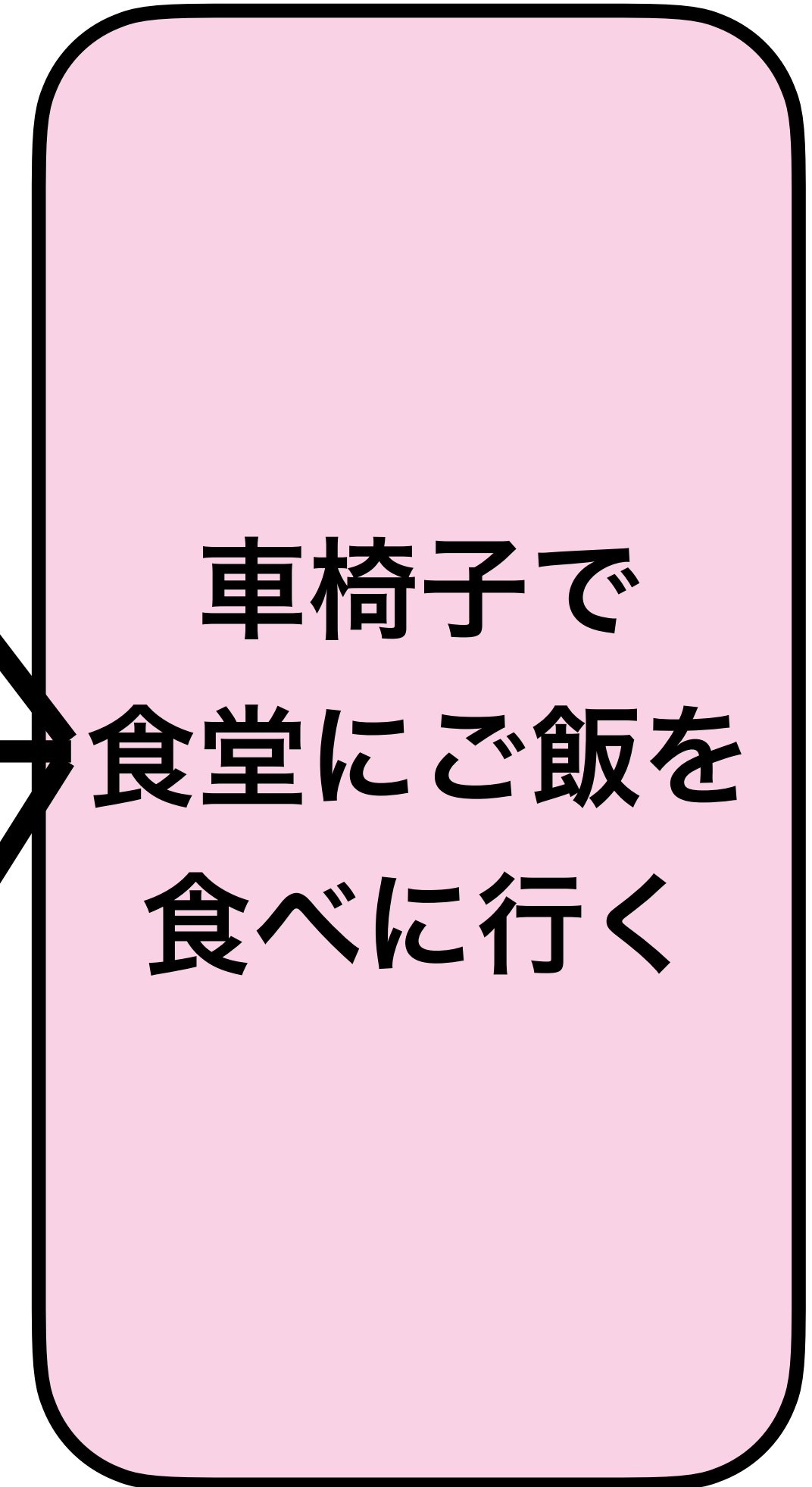


姿勢保持（座位）

車椅子移動

食事動作

摂食・嚥下動作



車椅子で  
食堂にご飯を  
食べに行く

運動

動作

行為

# 食事動作に繋がるシーティング

- ①シーティング (seating) とは？
- ②食事動作に必要なシーティングについて  
→車椅子シーティングの段階な目標設定・必要な構成要素
- ③症例を通して考える (セミナー内で提示)